



Hewlett Packard
Enterprise

HPE iLO 5 トラブルシューティングガイド

摘要

このガイドには、サポートされている HPE サーバーおよびコンピュータモジュールでの HPE iLO 5 ファームウェアに関連する問題のトラブルシューティング情報が記載されています。

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java® および Oracle® は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Google Chrome™ は、Google Inc. の商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

VMware® は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

SD は SD-3C の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。



改訂履歴

部品番号	出版日付	版	変更のサマリー
P08489-194	2020年9月	1	<p>新しいトピック：</p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>iLO 診断ツール</u>・ <u>アプリケーションを起動できないことを示すダイアログボックスが.NET IRC に表示される (新しい Microsoft Edge)</u>・ <u>.NET IRC が新しい Microsoft Edge で起動しない</u>・ <u>iLO 連携設定タブのグループの追加と編集のコントロールが無効になっている</u>・ <u>共有ネットワークポート構成のサーバーで OS のインストールが失敗する</u>・ <u>共有ネットワークポート構成のサーバーでネットワークパフォーマンスが低い</u> <p>アップデートされたトピック：</p> <p><u>仮想 NIC から iLO にアクセスできない</u></p>
P08489-193	2019年12月	1	<ul style="list-style-type: none">・ パフォーマンス管理機能のメニューパスと機能名をアップデートしました。 <p>Intelligent System Tuning メニューからアクセスしていた機能に、パフォーマンスメニューからアクセスできるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>信頼できる証明書をインポートできない</u>についての新しいトピック。・ <u>iLO にシングルサインオン接続が拒否される</u>についての新しいトピック。・ <u>セキュリティ警告ダイアログボックスが.NET IRC に表示される</u>についての新しいトピック。

目次

トラブルシューティングツール.....	8
サーバーヘルスマサリーの使用.....	8
サーバーヘルスマサリーの詳細.....	8
Windbg での iLO 仮想シリアルポートの使用.....	9
iLO 診断ツール	11
イベントログのエントリ.....	12
IML のトラブルシューティングのリンク.....	12
ログインと iLO アクセスの問題.....	13
iLO ファームウェアのログイン名とパスワードが受け付けられない	13
名前を使用して iLO マネジメントポートにアクセスできない.....	13
iLO マネジメントポートが DHCP サーバーで予約されている IP アドレスを受信しない.....	14
iLO ログインページにアクセスできない	14
iLO ネットワーク設定の変更後に接続できなくなった.....	15
iLO のリセット後に iLO ログインページに戻れない	15
iLO ファームウェアのアップデート後に iLO 接続エラーが発生する	15
NIC を用いて iLO プロセッサに接続できない	16
iLO の証明書のインストール後 iLO にログインできない	16
iLO の IP アドレスに接続できない	16
iLO TCP/IP 通信が失敗する	17
Firefox を使用して iLO に接続するときのセキュアな接続の失敗エラー.....	17
Internet Explorer で iLO の Web インターフェイスに移動するときのセキュリティ警告.....	18
Microsoft Edge で iLO の Web インターフェイスに移動するときのセキュリティ警告.....	19
Chrome で iLO の Web インターフェイスに移動するときのセキュリティ警告.....	20
Firefox で iLO の Web インターフェイスに移動するときのセキュリティ警告.....	20
iLO ログインページに「Web サイトは不明な機関で認証されています」メッセージが表示される.....	21
HPE OneView によって管理されるサーバー上で iLO にアクセスできない	21
iOS モバイルアプリケーションで iLO システムに接続できない.....	22
iLO が ping に断続的に応答するか、または応答しない.....	23
iLO を使用した XML スクリプトの実行に失敗する.....	23
Microsoft Edge (レガシー) で iLO オンラインヘルプを開こうとすると証明書の警告が表示される.....	23
iLO にシングルサインオン接続が拒否される.....	24
ファームウェアの問題.....	25
iLO ファームウェアのアップデートが失敗する	25
iLO ファームウェアアップデートエラー	25
iLO ファームウェアアップデートが終了しない	26
iLO ネットワークのフラッシュエラーリカバリ.....	26
iLO によるシステム ROM (BIOS) 障害のレポート.....	27
iLO による無効なファームウェアコンポーネントの検出.....	28
ライセンスの問題.....	30
ライセンスキーインストールエラー.....	30
仮想メディアまたはグラフィックリモートコンソールにアクセスできない.....	31

リモートコンソールの問題..... 33

リモートコンソールとクライアントキーボードとの間で Caps Lock が同期しない..... 33

リモートコンソールとクライアントキーボードとの間で Num Lock が同期しない..... 33

.NET IRC が再生モードにあるとき、セッションリーダーが接続要求を受信しない 33

リモートコンソールセッション中に意図しないキーストロークが繰り返される..... 34

カーソルがリモートコンソールウィンドウの隅にアクセスできない 34

リモートコンソールのテキストウィンドウが正しくアップデートされない..... 35

リモートコンソールのキーボード LED が正しく動作しない 35

サーバーから仮想メディア USB キーにファイルをコピーした後にファイルが表示されな
い 35

リモートコンソールを使用してマウントされた USB キーを使用して DOS からブートで
きない..... 36

リモートコンソールのホットキーが HTML5 IRC で使用できない..... 37

iLO ナビゲーションペインのリモートコンソールのサムネイルが Microsoft Edge（レガ
シー）で見つからない..... 37

リモートコンソールで CTRL+ALT+DEL を押すと、クライアント OS にしか影響が及ばない. 38

HTML5 IRC 使用時のキーボード入りに予期しない影響が出る..... 38

.NET IRC がウィンドウの切り替え後に継続して文字を送信する 39

.NET IRC が非アクティブになるか切断される..... 39

.NET IRC がサーバーに接続できない 40

.NET IRC がアプリケーション要件を確認するのに長い時間がかかる（Internet Explorer） 41

アプリケーションを起動できないことを示すダイアログボックスが.NET IRC に表示され
る（Internet Explorer） 42

アプリケーションを起動できないことを示すダイアログボックスが.NET IRC に表示され
る（新しい Microsoft Edge） 42

アプリケーションが不適切にフォーマットされていることを示すダイアログボックス
が.NET IRC に表示される..... 42

セキュリティ警告ダイアログボックスが.NET IRC に表示される..... 43

.NET IRC を共有できない 44

.NET IRC がレガシーバージョンの Microsoft Edge で起動しない..... 44

.NET IRC が新しい Microsoft Edge で起動しない..... 45

マウスまたはキーボードが内蔵リモートコンソールで機能しない..... 46

Linux クライアントで Firefox を使用して Java IRC を実行すると、Java IRC に赤色の X が
表示される 47

パフォーマンスに関する問題..... 48

iLO の Web インターフェイスにパフォーマンス機能がない..... 48

プロセッサジッター制御最適化を構成できない..... 49

プロセッサジッター制御モードで無効状態が表示されて構成できない..... 49

テキストベースのリモートコンソールの問題..... 51

テキストベースのリモートコンソールで Linux インストーラーを表示できない..... 51

SSH ターミナル経由でデータを送信できない..... 51

シリアルタイムアウト時間内の VSP 主導の選択によって、出力が VSP ではなく BIOS リ
ダイレクトに送信される..... 51

スクロールとテキストが、BIOS リダイレクト中にイレギュラーに見える..... 52

ディレクトリの問題..... 53

Kerberos 認証による iLO へのログインが失敗する..... 53

Kerberos ログインの試行中に iLO 認証情報プロンプトが表示される 54



名前による Kerberos ログインの試行中に iLO 認証情報プロンプトが表示される	54
iLO へのディレクトリ接続が途中で終了する	55
構成されているディレクトリユーザーコンテキストが iLO ログインで動作しない	55
ディレクトリタイムアウトになった後もディレクトリユーザーアカウントがログアウトしない	56
iLO Zero サインイン構成用の Kerberos キータブファイルの生成の失敗	56
iLO Kerberos 構成での <code>Setspn</code> の実行中のエラー	56
OpenLDAP 認証は、入れ子型グループまたは <code>posixgroups</code> で構成されている場合に失敗します。	57
ドメインコントローラー OS の再インストール後に iLO Zero サインインが失敗する	57
Active Directory の認証情報での iLO ログインに失敗する	57
Directory Server DNS Name テストで失敗が報告される	58
ディレクトリサーバーへの Ping テストが失敗を報告する	58
Connect to Directory Server テストで失敗が報告される	59
Connect using SSL テストで失敗が報告される	59
Bind to Directory Server テストで失敗が報告される	59
Directory Administrator Login テストで失敗が報告される	60
ユーザー認証テストで失敗が報告される	60
ユーザー承認テストで失敗が報告される	60
ディレクトリユーザーコンテキストテストで失敗が報告される	61
LOM Object Exists テストで失敗が報告される	61

リモートサポートの問題..... 62

Insight RS 登録中の SSL Bio エラー	62
Insight Online または Insight RS でサーバー名によってサーバーが識別されない	62
サーバーの OS 名とバージョンが Insight RS または Insight Online に表示されない	63
Insight Online Direct Connect に登録中の接続エラー	63
iLO Insight Online Direct Connect 登録中に iLO セッションが予期せず終了する	64
Insight RS または Insight Online でサーバーのヘルスステータスが赤色になる	64
Insight Online または Insight RS でサーバー名によってサーバーが識別されない	64
リモートサポートデータが Hewlett Packard Enterprise に送信されたときにサーバー情報が上書きされる	65
OS 情報が Insight Online に正しく表示されない	65
システムボードを交換したサーバーで、Insight Online Direct Connect が動作を停止する	66
Central Connect デバイスの重複レコードが Insight Online に存在する	66
デバイスの無償保証が Insight RS に期限切れとして不正に表示される	67
サービスイベントおよび収集が Insight RS Console に不正なタイムスタンプを表示する	67

iLO 連携の問題..... 69

iLO 連携ページでクエリエラーが発生する	69
iLO のマルチシステムマップページにタイムアウトエラーが表示される	69
iLO マルチシステムマップページに 502 エラーが表示される	70
iLO マルチシステムマップページに 403 エラーが表示される	70
iLO ピアが iLO 連携ページに表示されない	71
iLO のピアが、IPv4 ネットワーク上で IPv6 アドレスで表示される	71
iLO 連携設定タブのグループの追加と編集のコントロールが無効になっている	72

Agentless Management、AMS、および SNMP の問題..... 73

AMS がインストールされているのに、iLO で使用できない	73
HPE SIM から SNMP 情報を取得できない	73
iLO から HPE SIM のアラーム (SNMP トラップ) を受信できない	73

SSH の問題	74
iLO との PuTTY の初期接続時の入力が緩慢である	74
iLO 共有ネットワークポートを使用する場合、PuTTY クライアントが応答しない.....	74
iLO への SSH 接続を使用する場合にテキストが正しく表示されない.....	74
SSH セッションが起動に失敗する、または予期せず終了する.....	75
仮想 NIC の問題	76
iLO Web インターフェイスまたは iLO RESTful API に仮想 NIC からアクセスできない.....	76
仮想 NIC から iLO にアクセスできない.....	77
ネットワークの問題	80
共有ネットワークポート構成のサーバーで OS のインストールが失敗する.....	80
共有ネットワークポート構成のサーバーでネットワークパフォーマンスが低い.....	80
その他の問題	82
iLO イベントログエントリのタイムスタンプが正しくない.....	82
iLO サービスポートに接続された USB キーのマウントが失敗する.....	82
Intelligent Provisioning が iLO ナビゲーションペインにない.....	82
信頼できる証明書をインポートできない.....	83
Web サイト	84
サポートと他のリソース	86
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	86
アップデートへのアクセス.....	86
リモートサポート（HPE 通報サービス）.....	87
保証情報.....	87
規定に関する情報.....	87
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	88

トラブルシューティングツール

サーバーヘルスサマリーの使用

iLO を使用すると、サーバーの電源をオンまたはオフにしたときに外部モニターにサーバーヘルスサマリーを表示できます。この機能は、サーバーが起動しないときのトラブルシューティングに使用してください。この機能を使用すると、サーバーの IP アドレスやその他のヘルス情報を表示することもできます。

前提条件

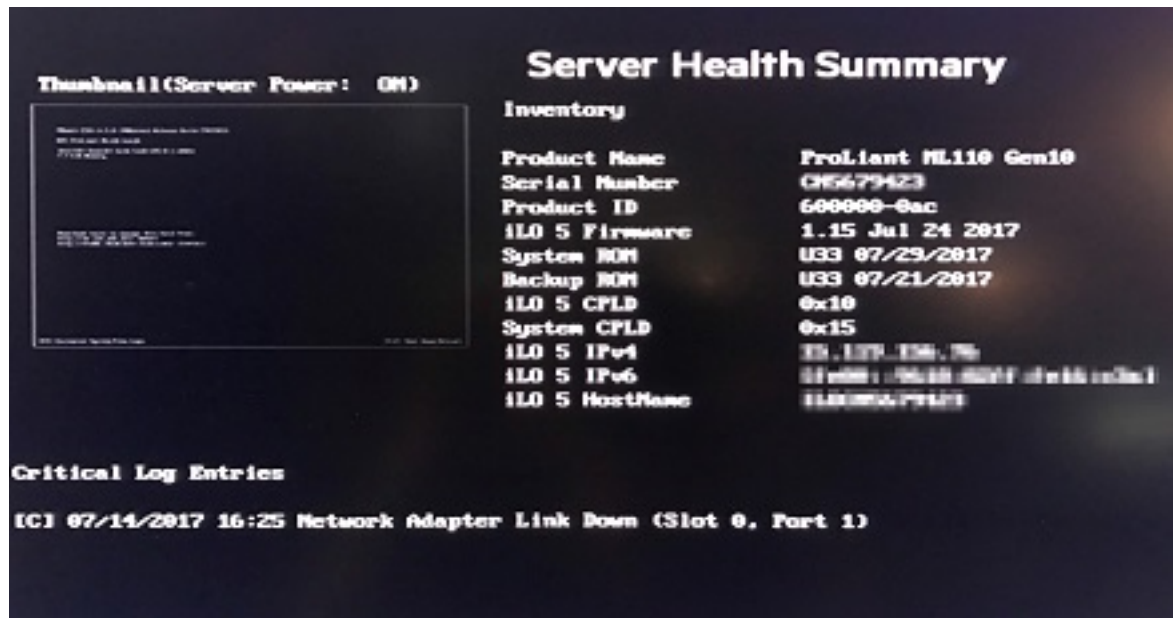
- ・ サーバーには UID ボタンがあります。
- ・ 外部モニターが接続されています。
- ・ **アクセス設定ページで、外部モニターにサーバーヘルスを表示機能が有効になっています。**

手順

1. サーバー上の UID ボタンを押します。

△ 注意: UID ボタンを押して放します。5 秒以上押しつづけると、適切な iLO の再起動またはハードウェア iLO の再起動を開始します。ハードウェア iLO の再起動中にデータの損失や NVRAM の破損が発生する可能性があります。

外部モニターにサーバーヘルスサマリー画面が表示されます。



2. 再度 UID ボタンを押して、サーバーヘルスサマリー画面を閉じます。

サーバーヘルスサマリーの詳細

サーバー画面のサムネイル

サーバー画面のサムネイルイメージ。

Server Power

サーバーの電源ステータス。

Product Name

サーバーのモデル。

Serial Number

サーバーのシリアル番号。

Product ID

この iLO プロセッサを統合する製品。

iLO Firmware

インストールされている iLO ファームウェアのバージョン。

System ROM

インストールされているシステム ROM のバージョン。

Backup ROM

バックアップシステム ROM のバージョン。

iLO CPLD

インストールされている iLO CPLD のバージョン。

System CPLD

インストールされているシステム CPLD のバージョン。

Embedded Smart Array

インストールされている Smart アレイファームウェアのバージョン。この値は、最後の補助電源サイクル以降にサーバー POST が正常に完了した場合にのみ表示されます。

iLO IPv4

iLO の IPv4 アドレス。この値は、**アクセス設定** ページ上で **POST 実行中に iLO IP を表示** が有効になっている場合にのみ表示されます。

iLO IPv6

iLO の IPv6 アドレス。この値は、**アクセス設定** ページ上で **POST 実行中に iLO IP を表示** が有効になっている場合にのみ表示されます。

iLO HostName

iLO のホスト名。

クリティカルログエントリ

IML からの最新のクリティカルイベントが表示されます。最新のイベントが最初に表示されます。

Windbg での iLO 仮想シリアルポートの使用

サーバーをデバッグする場合は、ローカルのテストシステムで動作している Windows Windbg カーネルデバッガとともに、iLO 仮想シリアルポート機能を使用できます。

前提条件

PuTTY がローカルテストシステムにインストールされている。PuTTY は Web サイト <http://www.putty.org/> からダウンロードできます。



手順

1. カーネル問題が発生したサーバー上の iLO Web インターフェイスから、**セキュリティ - アクセス設定** ページに移動して、**シリアルコマンドラインインターフェイス速度** を構成します。
デフォルト値は 9600 です。
2. Windows でデバッグオプションを設定します (シリアル接続の `boot.ini` パラメーター)。
`debugport = com2` を使用して、構成されたシリアルコマンドラインインターフェイス速度と一致するようにボーレートを設定します。
3. サーバーを起動または再起動します。
4. サーバーの POST 画面で **F9** キーを押します。
ROM ベースの構成ユーティリティが起動します。
5. 以下の設定を行います。
 - ・ EMS および BIOS シリアルコンソールを無効にします。
 - ・ 仮想シリアルポートを COM 2 に設定します。
6. Windows のデバッグブートオプションの選択メニューにアクセスするには、サーバーを再起動します。
7. ローカルテストシステムから、PuTTY を使用して iLO に接続し、ログインします。
8. セッションホスト名の IP アドレスを入力します。SSH セッションのデフォルト設定を使用します。
PuTTY iLO CLI セッションが開くと、ユーザーログインウィンドウが開きます (プライベートキーを使用するように PuTTY セッションを設定していない場合)。
プロンプトが表示されるまでに少し時間がかかる場合があります。
9. `</>hpiLO->` プロンプトで、コマンド `windbg_enable` を入力します。
このコマンドにより、ポート 3002 で仮想シリアルポートへのソケットが開きます。
10. Windows のデバッガーを起動するには、コマンド `windbg -k com:port=<IP-address>, ipport=3002` を入力します。
`<IP-address>` は iLO の IP アドレス、「3002」は接続するソケット (3002 は iLO の Raw シリアルデータソケット) です。
`ipport` パラメーターは省略可能です。デフォルトのポートは、3002 です。
必要に応じて、その他の `windbg` コマンドラインパラメーターを追加することができます。Hewlett Packard Enterprise は、初期ブレイクポイントのための `-b` パラメーターを使用することをおすすめします。
11. サーバーコンソール (または iLO リモートコンソール) にアクセスし、**Enter** キーを押して、OS ロードメニューでデバッグ選択を起動します。
この手順には、数分かかる場合があります。
12. ホストサーバーのデバッグを完了したら、PuTTY を使用して CLI に接続し、仮想シリアルポートへのデバッグソケットをオフにします。その後、コマンド `windbg_disable` を入力します。
iLO デバッグソケットが有効になっているかぎり、Windows デバッガーへの接続の切断および再接続が可能です。

iLO 診断ツール

iLO の診断ページには、以下の機能があります。

これらの機能の使用について詳しくは、HPE iLO 5 ユーザーガイドを参照してください。

iLO セルフテスト

iLO セルフテスト結果セクションには、内部 iLO 診断テストの結果やテスト名、ステータス、ノートなどが表示されます。

どのようなテストが実行されるかは、システムによって異なります。すべてのシステムですべてのテストが実行されるわけではありません。システムで実行されるテストを確認するには、診断ページで一覧を参照してください。

iLO の再起動（リセット）

場合によっては、iLO を再起動しなければならないことがあります。たとえば、iLO がブラウザーに応答しない場合などです。

リセットオプションを使用しても構成が変更されることはありませんが、iLO ファームウェアへのアクティブな接続がすべて終了します。ファームウェアファイルのアップロードが進行中の場合、アップロードは強制的に終了します。ファームウェアのフラッシュが進行中の場合、このプロセスが終了するまで iLO をリセットできません。

アプライアンスのイメージの再構築

アプライアンスハードウェアに直接アクセスできない場合、iLO を使用して、サポートされているアプライアンス向けにイメージの再構築プロセスを開始することができます。

警告: アプライアンスのイメージの再構築を行うと、イメージの再構築プロセスが完了するまでオフラインになります。

NMI の生成

NMI を生成機能で、オペレーティングシステムをデバッグのために停止できます。

この機能は、システムが起動せず、OS 前の状態（たとえば、POST 中）でハングする場合に役立ちます。NMI を使用すると、システム ROM 例外ハンドラーが有効になり、問題が発生したコードのトレースをキャプチャできます。

注意: 診断とデバッグのツールとしての NMI の生成は、主にオペレーティングシステムが使用不能になった場合に使用します。通常のサーバーの運用では、NMI を使用しないでください。NMI の生成ではオペレーティングシステムは適切にはシャットダウンされず、オペレーティングシステムがクラッシュします。このため、サービスとデータは失われます。NMI を生成ボタンは、OS が正常に動作せず、経験のあるサポート組織が NMI を推奨する極端なケースのみに使用してください。

システムセーフモードでの起動

サポートされているサーバーで、セーフモードでのシングルブートを開始するには、システムセーフモードオプションを使用します。この機能により、安全な最小構成でサーバーを起動できます。

インテリジェント診断モードで起動

サポートされているシステムでインテリジェント診断モードに入ると、POST 中のブート障害が自動的に診断されます。

このプロセスは、完了までに長時間かかることがあります。ブート障害の原因を特定するために、複数のサーバーの再起動が必要になる場合があります。インテリジェント診断モードに入ったら、プロセスを中断せずに完了させます。

工場デフォルト設定のリストア

すべての BIOS 構成設定を工場デフォルト値にリセットするには、**工場デフォルト設定のリストア** オプションを使用します。

このプロセスにより、ブート構成、セキュアブートのセキュリティキー（セキュアブートが有効な場合）、構成された日付時刻の設定など、すべての UEFI 不揮発性変数が削除されます。

この機能を使用すると、不揮発性メモリに保存された iLO IP アドレスおよび iLO 設定が保持されません。

システムデフォルト設定のリストア

システムデフォルト設定のリストア オプションを使用すると、すべての BIOS 構成設定がデフォルト値にリセットされ、サーバーは再起動します。

このオプションを選択すると、以下を除くすべてのプラットフォーム設定がリセットされます。

- ・ セキュアブート BIOS 設定
- ・ 日付と時刻の設定
- ・ プライマリおよび冗長の ROM の選択（サポートされる場合）
- ・ オプションカードや iLO などの他のエンティティは、個別にリセットする必要があります。

この機能を使用すると、不揮発性メモリに保存された iLO IP アドレスおよび iLO 設定が保持されます。

イベントログのエントリー

iLO イベントログに表示される可能性があるエラーのリストについては、次の Web サイト（<https://www.hpe.com/info/EIL>）で、ご使用のサーバーのエラーメッセージガイドを参照してください。

IML のトラブルシューティングのリンク

選択した IML イベントのトラブルシューティング情報を入手できます。サポートされているイベントは、IML イベントのペインに**詳細情報**リンクとして表示されます。

IML に表示されるイベントについて詳しくは、Web サイト（<https://www.hpe.com/support/ilo-docs>）の Integrated Management Log Messages and Troubleshooting Guide for HPE ProLiant Gen10 and Gen10 Plus servers and HPE Synergy を参照してください。



ログインと iLO アクセスの問題

iLO ファームウェアのログイン名とパスワードが受け付けられない

症状

iLO ファームウェアのログインに失敗します。

原因

入力されたユーザーアカウント情報が誤っています。

アクション

1. 正しいユーザーアカウント情報を入力します。
 - ・ パスワードでは大文字と小文字が区別されます。
 - ・ ユーザー名は、大文字と小文字が区別されません。大文字と小文字は同一として扱われます（例：Administrator は administrator と同一として扱われます）。

名前を使用して iLO マネジメントポートにアクセスできない

症状

名前を使用して iLO マネジメントポートにアクセスできない。

原因

iLO マネジメントポートは、WINS サーバーまたは DDNS サーバーを使用して、iLO マネジメントポートに名前でアクセスするために必要な名前-IP アドレス解決を提供することができます。名前を使用して iLO マネジメントポートにアクセスできるように環境が構成されていません。

アクション

1. 環境が以下の要件を満たすことを確認します。
 - ・ iLO マネジメントポートの電源を入れる前に、WINS サーバーまたは DDNS サーバーが稼働している必要があります。
 - ・ iLO マネジメントポートは、WINS サーバーまたは DDNS サーバーの IP アドレスを使用して構成されます。DHCP を使用して、必要な IP アドレスを構成できます。
 - ・ iLO マネジメントポートには、WINS サーバーまたは DDNS サーバーへの有効な経路があります。
 - ・ iLO マネジメントポートにアクセスするために使用するクライアントは、マネジメントポートの IP アドレスが登録された DDNS サーバーを使用するように構成されます。



WINS サーバーと動的でない DNS サーバーを使用する場合は、DNS サーバーが名前解決用に WINS サーバーを使用するように設定すると、iLO マネジメントポートアクセスを高速化させることができます。詳しくは、Microsoft のドキュメントを参照してください。

iLO マネジメントポートが DHCP サーバーで予約されている IP アドレスを受信しない

症状

iLO マネジメントポートが、DHCP サーバーで予約されている IP アドレスを受信しなかった。

原因

iLO 5 マネジメントポート用に DHCP の予約を作成する際に、DHCP クライアント識別子（一意の識別子）として MAC アドレスが使用されました。iLO 5 システム用の DHCP クライアント識別子は、後ろに 3 バイト（6 文字）の 0 が続くハードウェア MAC アドレスです。

アクション

DHCP の予約が正しく作成されたことを確認します。

iLO 5 マネジメントポート用に DHCP の予約を作成する場合は、後ろに 3 バイト（6 文字）の 0 が続くハードウェア MAC アドレスで構成される、DHCP クライアント識別子を使用します。

たとえば、iLO 5 MAC アドレスが 00-53-00-AA-BB-CC であれば、関連する DHCP クライアント識別子は 005300AABBCC000000 になります。

iLO ログインページにアクセスできない

症状

iLO Web インターフェ이스のログインページがロードされません。

解決方法 1

原因

ブラウザの SSL 暗号化レベルが 128 ビット以上に設定されていません。

iLO の SSL 暗号化レベルは 128 ビット以上に設定されており、変更することはできません。ブラウザと iLO の暗号化レベルは一致していなければなりません。

アクション

ブラウザの SSL 暗号化レベルを 128 ビット以上に設定します。

解決方法 2

原因

iLO は共有ネットワークポートを使用するように構成され、その共有ネットワークポートが使用する NIC に対する NIC チューニングが有効になっています。この構成では、次の場合にネットワーク通信がブロックされる可能性があります。



- ・ 選択された NIC チーミングモードによって、iLO が接続されているスイッチは、iLO が共有するように構成されているサーバー NIC/ポートからのトラフィックを無視するようになります。
- ・ 選択された NIC チーミングモードによって、iLO 宛てのすべてのトラフィックが、iLO が共有するように構成されていない NIC/ポートに送信されます。

アクション

共有ネットワークポート構成が iLO の NIC チーミングガイドラインに従っていることを確認します。
詳しくは、iLO のユーザーガイドを参照してください。

iLO ネットワーク設定の変更後に接続できなくなった

症状

ネットワーク設定を変更した後、iLO にアクセスできません。

原因

NIC とスイッチの設定が同じではありません。

アクション

接続の両端（NIC およびスイッチ）で、トランシーバー速度の自動選択、速度、およびデュプレックスについて同じ設定が行われていることを確認してください。

たとえば、一方の側で接続が自動選択されるように設定されている場合、もう一方の側でも同じ設定を使用してください。

iLO のリセット後に iLO ログインページに戻れない

症状

iLO のリセット後に iLO ログインページが開きません。

アクション

ブラウザのキャッシュをクリアし、ブラウザを再起動します。

iLO ファームウェアのアップデート後に iLO 接続エラーが発生する

症状

ファームウェアのアップデート後に、Web インターフェイスを使用して iLO に接続できません。



アクション

ブラウザのキャッシュをクリアして、再試行します。

NIC を用いて iLO プロセッサに接続できない

症状

NIC 経由で iLO プロセッサにアクセスできません。

アクション

- ・ ROM ベースのシステムユーティリティを使用して NIC が有効になっていることを確認し、割り当てられた IP アドレスとサブネットマスクを確認します。
詳しくは、ROM ベースのシステムユーティリティのドキュメントを参照してください。
- ・ ネットワーク上の別のワークステーションから、その NIC の IP アドレスを ping します。
- ・ ブラウザーで、NIC の IP アドレスを URL として入力して、NIC との接続を試みます。このアドレスで、iLO のログインページを表示できます。
- ・ iLO をリセットします。ネットワーク接続が確立した場合、DHCP サーバー要求を最大 90 秒待つ必要がある場合があります。

iLO の証明書のインストール後 iLO にログインできない

症状

iLO の自己署名証明書をブラウザの証明書ストアにインストールした後、iLO にアクセスできません。

原因

iLO を工場出荷時のデフォルト設定にリセットするか、iLO ホスト名を変更すると、新しい自己署名証明書が生成されます。一部のブラウザでは、自己署名証明書を永久的にインストールすると、新しい自己署名証明書を生成した後で iLO にログインできないことがあります。

アクション

自己署名証明書をブラウザの証明書ストアから削除します。

自己署名証明書の証明書名は iLO で、**発行元値にはデフォルトの発行元**というテキストが含まれていません。

iLO の自己署名証明書をブラウザの証明書ストアにインストールしないでください。証明書をインストールする場合は、CA に永久的な証明書を要求し、iLO にインポートします。

証明書の使用について詳しくは、ブラウザのドキュメントを参照してください。

iLO の IP アドレスに接続できない

症状

iLO の IP アドレスを使用して iLO に接続できません。



原因

プロキシサーバーを使用するように Web ブラウザーが構成されています。

アクション

プロキシサーバーを使用せずに iLO に接続するには、プロキシサーバーの例外リストに iLO を追加します。

手順については、ブラウザーのドキュメントを参照してください。

iLO TCP/IP 通信が失敗する

症状

iLO 通信が失敗します。

原因

1 つまたは複数の TCP/IP ポートを介した iLO 通信をファイアウォールが妨げています。

アクション

iLO が使用するポートでの通信を許可するようにファイアウォールを構成します。

iLO ポート設定の表示および変更については、iLO ユーザーガイドを参照してください。

Firefox を使用して iLO に接続するときのセキュアな接続の失敗エラー

症状

Firefox を使用して iLO に接続しようとするときに、次のエラーが発生します。

```
sec error reused issuer and serial
```

解決方法 1

原因

インストールされている証明書には、認証機関によって発行された別の証明書と同じシリアル番号が含まれています。

アクション

1. メニューボタンをクリックし、**オプション**を選択します。
2. **詳細設定**をクリックします。
3. **証明書**をクリックします。
4. **証明書を表示**をクリックします。
5. **サーバータブ**をクリックし、iLO に関係する証明書をすべて削除します。
6. **その他タブ**をクリックし、iLO に関係する証明書をすべて削除します。



7. **OK** をクリックします。
8. Firefox を起動し、iLO に接続します。

解決方法 2

原因

インストールされている証明書には、認証機関によって発行された別の証明書と同じシリアル番号が含まれています。

アクション

1. Firefox を閉じます。
2. Firefox の AppData フォルダーに移動して、すべての Firefox ディレクトリにある*.db ファイルをすべて削除します。

AppData フォルダーは通常次の場所にあります。C:\\Users\\<ユーザー名>\\AppData\\Local\\Mozilla\\Firefox\\

Internet Explorer で iLO の Web インターフェイスに移動するときのセキュリティ警告

症状

Microsoft Internet Explorer で iLO の Web インターフェイスに移動すると、Web サイト証明書に関連するセキュリティ警告が表示される。

解決方法 1

アクション

1. お使いの Internet Explorer のバージョンに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - ・ このサイトの閲覧を続行する (推奨されません) をクリックします。
 - ・ 詳細情報をクリックしてから、Web ページへ移動 (推奨されません) リンクをクリックします。
2. iLO にログインします。

このソリューションを使用すると、iLO の Web インターフェイスを表示するときに、ブラウザーのアドレスバーに**証明書エラー**というテキストが表示されます。

解決方法 2

アクション

1. iLO にログインします。
2. ナビゲーションツリーで**セキュリティ**をクリックし、**SSL 証明書**タブをクリックします。
3. SSL 証明書を取得してインポートします。



手順については、HPE iLO 5 ユーザーガイドを参照してください。

4. iLO をリセットします。

Microsoft Edge で iLO の Web インターフェイスに移動するときのセキュリティ警告

症状

Microsoft Edge で iLO の Web インターフェイスに移動すると、Web サイト証明書に関連するセキュリティ警告が表示される。

解決方法 1

アクション

Microsoft Edge (レガシー) の場合：

1. 詳細をクリックします。
2. Web ページへ移動をクリックします。
3. iLO にログインします。

アクション

Microsoft Edge (新規) の場合：

1. 詳細設定をクリックします。
2. *iLO host name* に進む (安全ではありません) をクリックします。
3. iLO にログインします。

このソリューションを使用すると、iLO の Web インターフェイスとオンラインヘルプを表示するときに、ブラウザのアドレスバーに安全ではありませんというテキストが表示されます。

解決方法 2

アクション

1. iLO にログインします。
2. ナビゲーションツリーでセキュリティをクリックし、SSL 証明書タブをクリックします。
3. SSL 証明書を取得してインポートします。

手順については、HPE iLO 5 ユーザーガイドを参照してください。

4. iLO をリセットします。



Chrome で iLO の Web インターフェイスに移動するときのセキュリティ警告

症状

Google Chrome で iLO の Web インターフェイスに移動すると、Web サイト証明書に関連するセキュリティ警告が表示される。

解決方法 1

アクション

1. **詳細設定**をクリックします。
2. **iLO host name**に進む (**安全ではありません**) をクリックします。
3. iLO にログインします。

このソリューションを使用すると、iLO の Web インターフェイスとオンラインヘルプを表示するときに、ブラウザのアドレスバーに**保護されていない通信**というテキストが表示されます。

解決方法 2

アクション

1. iLO にログインします。
2. **管理 > セキュリティ > SSL 証明書**ページに移動します。
3. SSL 証明書を取得してインポートします。
手順については、HPE iLO 5 ユーザーガイドを参照してください。
4. iLO をリセットします。

Firefox で iLO の Web インターフェイスに移動するときのセキュリティ警告

症状

Mozilla Firefox で iLO の Web インターフェイスに移動すると、Web サイト証明書に関連するセキュリティ警告が表示される。

解決方法 1

アクション

1. **詳細設定**をクリックします。
2. **危険性を承知で続行**をクリックします。
3. iLO にログインします。

このソリューションを使用すると、iLO の Web インターフェイスとオンラインヘルプを表示するときに、ブラウザのアドレスバーに**警告アイコン**が表示されます。



解決方法 2

アクション

1. iLO にログインします。
2. **管理 > セキュリティ > SSL 証明書** ページに移動します。
3. SSL 証明書を取得してインポートします。
手順については、HPE iLO 5 ユーザーガイドを参照してください。
4. iLO をリセットします。

iLO ログインページに「Web サイトは不明な機関で認証されています」メッセージが表示される

原因

iLO ログインページに移動すると、「Web サイトは不明な機関で認証されています」というメッセージが表示されます。

アクション

1. 証明書を表示して、(にせのサーバーでなく) 正しいマネジメントサーバーにアクセスしていることを確認します。
 - a. 発行先の名前がマネジメントサーバーであることを確認します。必要と思われる手順を実行して、マネジメントサーバーの識別情報を確認します。
 - b. これが正しいマネジメントサーバーかどうか確信が持てない場合は、先に進まないでください。にせのサーバーにアクセスしている可能性があり、ログインするときにログイン認証情報をにせのサーバーに渡すおそれがあります。管理者に連絡してください。接続を取り消すには、証明書ウィンドウを終了し、いいえまたはキャンセルをクリックします。
2. 前のステップの項目を確認した後、次のオプションを選択します。
 - ・ このセッションのために一時的に証明書を受け入れる。
 - ・ 永久的に証明書を受け入れる。
 - ・ いったん中止し、管理者から提供されたファイルからブラウザーに証明書をインポートする。

HPE OneView によって管理されるサーバー上で iLO にアクセスできない

症状

HPE OneView が管理するサーバー上で iLO にアクセスできません。

原因

サーバー署名が変更され、HPE OneView はサーバーの再検出および構成を実行していません。

アクション

HPE OneView を使用して、サーバーを含むフレームを更新します。

iOS モバイルアプリケーションで iLO システムに接続できない

症状

iOS モバイルアプリケーションを使用して iLO システムに接続しようとする、接続に失敗する。

解決方法 1

原因

iLO の構成が間違っているか、ローカルネットワークに問題があります。

アクション

この原因を確認するために、iLO と同じネットワークにあるノートパソコンまたはデスクトップコンピュータを使用して、iLO との接続を試みてください。接続に失敗した場合、iLO とネットワーク構成を確認してください。

解決方法 2

原因

iOS デバイスと iLO の間にファイアウォールがあります。この原因を確認するために、iOS デバイスの Safari ブラウザーから iLO への接続を試みてください。

アクション

- ・ iLO Web サーバー SSL ポート (HTTPS) とリモートコンソールポートの例外を許可するようファイアウォールを構成します。デフォルトでは、Web サーバー SSL ポートはポート 443 を使用して、リモートコンソールポートはポート 17990 を使用します。
- ・ ほとんどのファイアウォールで許可されている例外で動作するように iLO を構成します。通常、ファイアウォールは、ポート 80 と 443 のアドレスの例外を許可します。iLO Web サーバー非 SSL ポートをデフォルト値 (80) から別の値に変更し、ポート 80 を使用するようにリモートコンソールポートを構成します。

iLO ポートの値は、iLO の Web インターフェイスの **アクセス設定** ページで構成できます。

- ・ iOS デバイスをネットワークに接続するには、VPN 接続を使用します。

VPN 接続を使用する場合は、通常、Oath トークンまたは同等のものおよびアカウントを IT 部門から取得する必要があります。デバイスで VPN を構成した後で、一時パスワードを生成し、使用する iLO を含むネットワークにログインします。

iOS デバイスで VPN をセットアップする方法については、IT 管理者にお問い合わせください。

iLO が ping に断続的に応答するか、または応答しない

症状

iLO は、ping に断続的に応答するか、または応答しません。

原因

iLO は共有ネットワークポートを使用するように構成され、その共有ネットワークポートが使用する NIC に対する NIC チューニングが有効になっています。この構成では、次の場合にネットワーク通信がブロックされる可能性があります。

- ・ 選択された NIC チューニングモードによって、iLO が接続されているスイッチは、iLO が共有するように構成されているサーバー NIC/ポートからのトラフィックを無視するようになります。
- ・ 選択した NIC チューニングモードによって、iLO 宛てのすべてのトラフィックが、iLO が共有するように構成されている以外の NIC/ポートに送信されます。

アクション

共有ネットワークポート構成が NIC チューニングガイドラインに従っていることを確認します。

iLO を使用した XML スクリプトの実行に失敗する

症状

iLO に対して XML スクリプトを実行すると、セッションが開始されないか、または突然終了します。

原因

iLO は共有ネットワークポートを使用するように構成され、その共有ネットワークポートが使用する NIC に対する NIC チューニングが有効になっています。この構成では、次の場合にネットワーク通信がブロックされる可能性があります。

- ・ 選択された NIC チューニングモードによって、iLO が接続されているスイッチは、iLO が共有するように構成されているサーバー NIC/ポートからのトラフィックを無視するようになります。
- ・ 選択した NIC チューニングモードによって、iLO 宛てのすべてのトラフィックが、iLO が共有するように構成されている以外の NIC/ポートに送信されます。

アクション

共有ネットワークポート構成が NIC チューニングガイドラインに従っていることを確認します。

Microsoft Edge (レガシー) で iLO オンラインヘルプを開こうとすると証明書警告が表示される

症状

Microsoft Edge (レガシー) で iLO オンラインヘルプにアクセスしようとする、証明書のエラーが表示される。



原因

Microsoft Edge (レガシー) バージョン 42 以降では、信用できないサイトの証明書を信用することにしても、そのサイト内のすべてのウィンドウで拒否されます。ヘルプトピックのウィンドウなど、そのサイトのリンクから開いたポップアップウィンドウによって、信用できない証明書の使用を再承認するように求められます。

アクション

以下の解決策を試してください。

- ・ 信頼済みの証明書をインストールします。
- ・ **詳細リンク** をクリックし、**Go on to the webpage** をクリックして続行します。
この操作は、オンラインヘルプにアクセスするたびに必要になります。
- ・ 別のブラウザを使用します。

iLO にシングルサインオン接続が拒否される

症状

iLO はシングルサインオンをサポートするように構成されているが、SSO 接続が拒否される。

原因

現在の信頼モードまたは証明書ステータスに問題があります。

アクション

1. SSO 接続でアクセスするシステム上の iLO にログインします。
2. ナビゲーションツリーで **セキュリティ** をクリックし、**HPE SSO** タブをクリックします。
3. iLO が選択した **SSO 信頼モード** をサポートするように構成されていることを確認します。
 - ・ **証明書による信頼** を選択し、証明書が存在しない場合は、信頼できる証明書を追加します。
 - ・ **証明書による信頼** を選択し、証明書が存在する場合は、次のようにします。
 - 証明書の有効期限が切れていないことを確認します。
 - 証明書が、iLO の要件を満たすことを確認します。
高セキュリティまたは FIPS セキュリティ状態が有効な場合、2048 ビット証明書が必要です。
CNSA セキュリティ状態が有効な場合は、3072 ビット RSA キーまたは NIST P-384 曲線の 384 ビット ECDSA キーを含む証明書が必要です。
 - ・ **名前による信頼** を選択した場合は、DNS 名をインポートします。

詳しくは、HPE iLO 5 ユーザーガイドを参照してください。



ファームウェアの問題

iLO ファームウェアのアップデートが失敗する

症状

iLO ファームウェアをアップデートしようとする次の問題が発生します。

- ・ iLO ファームウェアが応答していません。
- ・ iLO がファームウェアアップデート要求を受け入れませんでした。
- ・ iLO ファームウェアのアップデートは、アップデートが完了する前に停止しました。

解決方法 1

原因

通信またはネットワークの問題が発生しました。

アクション

1. iLO に Web ブラウザー経由で接続を試みます。接続できない場合は、通信に問題があります。
2. iLO に対して ping を実行します。成功する場合、ネットワークは動作しています。
3. ファームウェアアップデートを再度実行してください。

解決方法 2

アクション

別のファームウェアアップデート方法を試してください。

iLO ファームウェアアップデートエラー


症状

iLO は、ファームウェアをアップデートする最後の試行が失敗したことを通知します。

原因

iLO ファームウェアのアップデートで間違ったファイルを使用しました。

アクション

フラッシュプロセスをリセットするには、 をクリックして正しいファームウェアファイルでファームウェアのアップデートを再び実行します。



エラーをクリアしないと、正しいファームウェアファイルを使用しても、同じエラーが発生する場合があります。

iLO ファームウェアアップデートが終了しない

症状

iLO ファームウェアアップデートが 1%完了のままで終了しません。

原因

iLO Web インターフェイスが応答を停止しました。

アクション

1. ブラウザーウィンドウを更新します。
2. iLO ファームウェアアップデートを再度実行してください。

iLO ネットワークのフラッシュエラーリカバリ

ほとんどのファームウェアアップグレードは、正常に終了します。万一、iLO ファームウェアのアップグレード時にサーバーの電源が切れた場合でも、iLO は、電源が再投入されたときに復旧することができます。

iLO が起動すると、起動コードは、メインイメージのイメージ検証を実行します。イメージが破損しているか不完全で、セキュアリカバリ機能で自動的に復元できない場合、iLO はフラッシュエラーリカバリモードになります。フラッシュエラーリカバリにより、iLO 内の FTP サーバーがアクティブになります。この FTP サーバーを使用すると、プログラミングのためにイメージを iLO に送信できます。FTP サーバーは、他のサービスを提供しません。

この機能は、iLO が製品セキュリティ状態または FIPS セキュリティ状態を使用するように設定されている場合にのみ使用できます。

ネットワーククライアントは、FTP サーバーに接続できます。接続のためのユーザー名は `test`、パスワードは `flash` です。ファームウェアイメージを iLO に送信するには、FTP クライアントの `PUT` コマンドを使用します。イメージを受信すると、iLO は、イメージを検証します。イメージが、署名された完全で有効なファームウェアイメージであれば、カーネルは、フラッシュパーティションのプログラミングを開始します。

フラッシュパーティションにイメージがプログラミングされたら、iLO は自動的にリセットされます。

例：

```
F:\ilo>ftp 192.168.1.2
Connected to 192.168.1.2.
220 FTP Recovery server ready.
User (192.168.1.2:(none)): ftp
331 Password required.
Password:
231 Logged in.
ftp> put iLO.bin
200 Ok.
150 ready for file
226-Checking file
226-File acceptable
226-Flashing 3% complete
```

```
226-Flashing 4% complete
226-Flashing 6% complete
.
.
.
226-Flashing 97% complete
226-Flashing 99% complete
226-Flashing 100% complete
226-Flashing completed
226 Closing file
ftp: 8388608 bytes sent in 1.38Seconds 6100.81 Kbytes/sec.
ftp> quit
```

iLO によるシステム ROM (BIOS) 障害のレポート

症状

システム ROM (BIOS) のステータスが失敗です。

このステータスがレポートされると、次のようになります。

- ・ iLO 概要ページのシステムヘルスステータスはクリティカルです。
- ・ ヘルスサマリーページの BIOS/ハードウェアヘルスステータスは失敗です。
- ・ ファームウェア検証ページで、システム ROM のヘルスはクリティカルで、ステータスが障害/オフラインです。
- ・ イベントが IML に記録されます。


解決方法 1

アクション

1. ファームウェア検証機能が自動修復向けに構成されている場合は、システムの修復が完了するまで待機します。
構成によっては、修復アクションによって、アクティブ ROM が冗長 ROM と置き換えられるか、システムリカバリセット (利用可能な場合) からシステム ROM ファームウェアが再インストールされる場合があります。
2. 修復が正常に完了したことを確認するには、**ファームウェア検証ページ**を確認します。

解決方法 2

アクション

1. ファームウェア検証機能が自動修復向けに構成されておらず、サーバーが冗長システム ROM をサポートする場合は、手動でアクティブシステム ROM を冗長システム ROM と置き換えます。
 - a. 仮想電源およびリセットの権限を持つアカウントで iLO にログインします。
 - b. ナビゲーションツリーで**ファームウェア & OS ソフトウェア**をクリックします。
 - c. インストールされたファームウェアページで、**冗長化システム ROM**の詳細の横にあるスワップアイコンをクリックします。

iLO が要求を確認するように求めます。

d. **OK** をクリックします。

変更は、次のサーバー再起動後に有効になります。

2. 修復が正常に完了したことを確認するには、**ファームウェア検証**ページを確認します。

解決方法 3

アクション

1. ファームウェア検証機能が自動修復向けに構成されていない場合は、手動でシステム ROM ファームウェアを再インストールします。
2. 修復が正常に完了したことを確認するには、**ファームウェア検証**ページを確認します。

iLO による無効なファームウェアコンポーネントの検出

症状

インストールされたファームウェアコンポーネントで、失敗ステータスが報告されている。

注記: このトピックは、システム ROM 以外のファームウェアタイプ用です。障害が発生したシステム ROM コンポーネントについては、[iLO によるシステム ROM \(BIOS\) 障害のレポート](#)を参照してください。

このステータスが発生すると、以下のようになります。

- ・ **iLO 概要**ページのシステムヘルスステータスはクリティカルです。
- ・ **ヘルスサマリー**ページの **BIOS/ハードウェアヘルス**ステータスは失敗です。
- ・ **ファームウェア検証**ページで、ファームウェアコンポーネントのヘルスはクリティカルで、ステータスが障害/オフラインです。
- ・ イベントが IML に記録されます。

解決方法 1

アクション

1. ファームウェア検証機能が自動修復向けに構成されている場合は、システムの修復が完了するまで待機します。
2. 修復が正常に完了したことを確認するには、**ファームウェア検証**ページを確認します。



解決方法 2

アクション

1. ファームウェア検証機能が自動修復向けに構成されていない場合は、手動で影響を受けるファームウェアを再インストールします。
2. 修復が正常に完了したことを確認するには、**ファームウェア検証**ページを確認します。



ライセンスの問題

ライセンスキーインストールエラー

症状

ライセンスキーエラーまたはライセンスのインストールに失敗しましたメッセージが表示されます。

解決方法 1

原因

キーが iLO ライセンスキーではありません。

アクション

iLO ライセンスキーを入手し、もう一度やり直してください。

解決方法 2

原因

正規のライセンスがすでにインストールされた状態で、評価キーが送信されました。

アクション

なし。iLO は、正規のキーがすでにインストールされている場合、評価キーのインストールをサポートしません。

解決方法 3

原因

iLO の日時設定が不適切です。

アクション

iLO の日時設定を確認し、もう一度やり直してください。

解決方法 4

原因

入力したライセンスキーが間違っています。



アクション

ライセンスキーのエラーをチェックし、もう一度やり直してください。

仮想メディアまたはグラフィックリモートコンソールにアクセスできない

症状

仮想メディアおよびグラフィックリモートコンソール機能が使用できません。

原因

iLO の仮想メディアおよびグラフィックリモートコンソール機能は、オプションの iLO ライセンスをインストールすることによって有効にします。ライセンスがインストールされていない場合は、ライセンスがないとこれらの機能を使用できないことを示すメッセージが表示されます。

アクション

これらの機能をサポートする iLO ライセンスをインストールします。

iLO ライセンスキーのリカバリ

症状

以前にライセンスが適用されていた iLO システムにライセンスが付与されておらず、ライセンスキーのリカバリと再インストールが必要です。

解決方法 1

原因

iLO は工場出荷時のデフォルト設定に設定されていましたが、システムボードが交換されたか、ライセンスキーが誤って置き換わりました。

アクション

バックアップファイルからライセンスキーと他の構成情報を復元します。

1. ナビゲーションツリーで**管理**をクリックし、**バックアップ**と**リストア**をクリックします。
2. **リストア**をクリックします。
3. 使用しているブラウザに応じて**参照**または**ファイルを選択**をクリックし、バックアップファイルに移動します。
4. バックアップファイルがパスワードで保護されている場合、パスワードを入力します。
5. **アップロード**および**リストア**をクリックします。
iLO が要求を確認するように求めます。
6. **リストア**をクリックします。
iLO が再起動され、ブラウザ接続が閉じます。接続が再確立されるまでに、数分かかることがあります。

解決方法 2

アクション

交換キーを取得します。

詳しくは、Web サイト (<https://www.hpe.com/support/ilo-docs>) にある iLO ライセンスガイドを参照してください。



リモートコンソールの問題

以下の各項では、リモートコンソールの問題のトラブルシューティングについて説明します。


- ❶ **重要:** 新しいウィンドウの自動起動を防止するポップアップブロックアプリケーションを使用すると、リモートコンソールを実行できなくなります。この場合、ポップアップブロックプログラムを無効にしてから、リモートコンソールを起動してください。

リモートコンソールとクライアントキーボードとの間で Caps Lock が同期しない

症状

リモートコンソールにログインすると、**Caps Lock** の設定がクライアントキーボードと同期しない。

アクション


- ・ .NET IRC または Java IRC で、**キーボード > Caps Lock** を選択します。
- ・ HTML5 IRC で、 をクリックし、仮想 **CAPS** キーをクリックします。

リモートコンソールとクライアントキーボードとの間で Num Lock が同期しない

症状

通常のセッションまたは共有リモートコンソールセッションで、**Num Lock** の設定がクライアントキーボードと同期しない。

アクション

- ・ .NET IRC または Java IRC で、**キーボード > Num Lock** を選択します。
- ・ HTML5 IRC で、 をクリックし、仮想 **NUM** キーをクリックします。

.NET IRC が再生モードにあるとき、セッションリーダーが接続要求を受信しない

症状

リモートコンソールセッションリーダーがキャプチャされたビデオデータを再生する場合、別のユーザーが .NET IRC へのアクセスまたは共有を要求するときにプロンプトが表示されません。

原因

.NET IRC をアクセスまたは共有する要求がタイムアウトしました。

アクション

他のユーザーに連絡するか、リモートコンソール取得機能を使用して.NET IRC を制御します。

リモートコンソールセッション中に意図しないキーストロークが繰り返される

症状

リモートコンソールセッション中に意図しないキーストロークが繰り返されます。

解決方法 1

原因

ネットワークの問題がネットワーク遅延を引き起こしている可能性があります。

アクション

ネットワーク遅延を引き起こす場合がある問題を特定し、解決します。

解決方法 2

原因

リモートシステムの設定により遅延が生じています。

アクション

1. リモートマシンで以下の設定を調整します。

- ・ **Increase the typematic delay** - この設定は、キーボードのキーを押したままにしたときに文字を繰り返す前の遅延を制御します。
- ・ **Decrease the typematic rate** - この設定は、キーボードのキーを押したままにしたときに文字を繰り返す速度を制御します。

これらの設定の正式名称は、使用している OS によって異なります。キーリピート遅延と速度の変更について詳しくは、OS のドキュメントを参照してください。

カーソルがリモートコンソールウィンドウの隅にアクセスできない

症状

カーソルをリモートコンソールウィンドウの隅に移動できません。



アクション

カーソルを右クリックしてリモートコンソールウィンドウの外側にドラッグしてから、内側にドラッグして戻してください。

リモートコンソールのテキストウィンドウが正しくアップデートされない

症状

リモートコンソールを使用して、高速でスクロールするテキストウィンドウを表示する場合、テキストウィンドウが正しくアップデートされないことがあります。

原因

この問題は、iLO のファームウェアの検出/表示速度よりもビデオのアップデート速度のほうが速いときに発生することがあります。通常、テキストウィンドウの左上隅だけがアップデートされ、残りの部分の表示はアップデートされません。

アクション

テキストウィンドウのスクロールが停止した後、**更新**をクリックしてリモートコンソールウィンドウをアップデートします。

リモートコンソールのキーボード LED が正しく動作しない

症状

クライアントのキーボード LED は、リモートコンソールキーボードの状態を反映しません。

原因

クライアントのキーボード LED は、リモートコンソールキーボードの実際の状態を反映しません。リモートコンソールでキーボードオプションを使用すると、**Caps Lock**、**Num Lock**、および **Scroll Lock** キーは完全に機能します。

アクション

操作は必要ありません。

サーバーから仮想メディア USB キーにファイルをコピーした後、ファイルが表示されない

症状

ファイルをターゲットサーバーから iLO 仮想メディア USB キーにコピーした場合、ファイルがクライアントコンピューター上の Windows エクスプローラーに表示されない。

原因

クライアントコンピューター上のユーザーは、Windows エクスプローラーを使用して iLO 仮想メディア USB キー上のファイルの変更を表示することはできません。

Windows エクスプローラーでは、ファイルのキャッシュされたコピーを USB キー上に保持します。USB キーがファイルの変更によってアップデートされたとき、リモートコンソールは Windows シェルに通知しません。エクスプローラーウィンドウを更新すると、キャッシュされた情報が USB キーに送り返されるため、変更された情報を表示することはできません。

アクション

1. Windows クライアントコンピューターに USB キーを接続します。
2. .NET IRC を起動します。
3. USB キーを**仮想ドライブ**メニューで選択することによって USB キーを接続します。
4. 接続したデバイス上のファイルを変更（コピー、削除など）します。
5. デバイス上のすべてのデータがアップデートされたことを確認するには、ターゲットサーバーからデバイスをアンマウントします。
6. リモートコンソールの**仮想デバイス**メニューを使用して USB キーを切断します。
USB キーの内容の更新に、Windows エクスプローラーを使用しないでください。
7. **ハードウェアの安全な取り外し**機能を使用して、クライアントコンピューターから USB キーを取り出します。
8. クライアントコンピューターから USB キーを取り外します。
USB キーをコンピューターに接続すると、Windows エクスプローラーでファイルの変更を確認できません。

リモートコンソールを使用してマウントされた USB キーを使用して DOS からブートできない

症状

リモートコンソールを使用して、マウントされている DOS ブート可能な USB キーから起動しようとすると、エラーが発生します。

USB キーの容量が 2 GB 以下の場合、次のメッセージが表示されます。

```
Attempting Boot from CD-ROM  
Attempting Boot from USB DriveKey (C:)  
Cannot load DOS! Any key to retry
```

USB キーの容量が 2 GB を超える場合は、次のメッセージが表示され、サーバーがその時点で操作を停止します。

```
Attempting Boot from USB DriveKey (C:)Boot from Drive  
Operating system load error
```

原因

リモートコンソールが USB キーのブートセクタにアクセスするための十分な特権がありません。



アクション

- ・ Internet Explorer を右クリックし、**管理者として実行**を選択します。iLO の Web インターフェイスを起動し、リモートコンソールを起動してから、USB キーからブートします。
- ・ USB キーをサーバーに挿入します。

リモートコンソールのホットキーが HTML5 IRC で使用できない


症状

HTML5 IRC でリモートコンソールのホットキーを入力すると、機能しないか、予期しない結果になる。

原因

ブラウザまたはクライアント OS が、何か他のキーを使用する目的でマッピングされています。たとえば、Chrome を使用している場合、**Ctrl+W** で現在のタブが閉じます。

アクション

- ・ 構成したホットキーと同じキーボードの組み合わせを使用しないブラウザを利用します。
- ・ ブラウザーがカスタムのショートカットをサポートしている場合は、異なるキーボードの組み合わせを使用するようにブラウザを構成します。
- ・ ブラウザーで競合しない別のホットキーを構成します。
- ・ 仮想 **CTRL** キーを使用してホットキーのコマンドを入力します。
 1.  をクリックして、仮想 **CTRL** キーをクリックしたままにします。
 2. クライアントキーボードで残りのキーボードの組み合わせを入力します。

iLO ナビゲーションペインのリモートコンソールのサムネイルが Microsoft Edge（レガシー）で見つからない

症状

iLO ナビゲーションペインのリモートコンソールのサムネイルは、ナビゲーションペインに表示されません。

原因

リモートコンソールのサムネイルイメージで使用されている形式は、Microsoft Edge（レガシー）v42 以降で正しく表示されません。



アクション


別のブラウザを使用します。

リモートコンソールで CTRL+ALT+DEL を押すと、クライアント OS にしか影響が及ばない

症状

クライアントキーボードで CTRL+ALT+DEL を押すとクライアント OS のみに影響が及び、サーバー OS およびリモートコンソールには影響が及ばない。

アクション

- ・ .NET IRC または Java IRC で、**キーボード > CTRL-ALT-DEL** を選択します。
- ・ HTML5 IRC で、 をクリックし、**CTRL+ALT+DEL** を選択します。

HTML5 IRC 使用時のキーボード入りに予期しない影響が出る




症状

HTML5 IRC を使用すると、キーボード入力を正しく行えなかったり、予期しない結果が出たりする。

原因

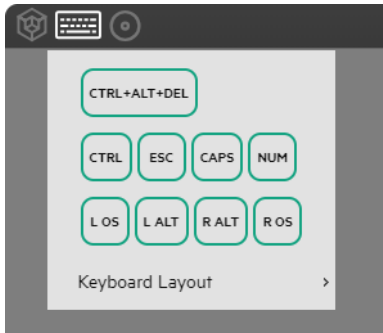
入力したキーまたはキーボードの組み合わせが、クライアント OS とリモートコンソールに、あるいはクライアント OS にのみ影響を及ぼした。

アクション

- ・ 入力するキーボードの組み合わせに適したリモートコンソールのホットキーを定義します。
- ・ HTML5 IRC 仮想キーを使用してキーボードの操作を入力します。
 - 仮想キーを押すには、 をクリックしてから仮想キーをクリックします。
 - 仮想キーでキーボードコマンドを入力するには、 をクリックしてから仮想キーをクリックしたままにします。クライアントのキーボードで、残りのキーボードコマンドを入力します。
たとえば、**CTRL + W** を入力するには、 をクリックし、仮想 **CTRL** キーの上でマウスをクリックしたままにし、クライアントキーボードの **W** を押します。

次の仮想キーを利用できます。





- **CTRL**-コントロール
- **ESC**-エスケープ
- **CAPS**-CapsLock
- **NUM**-NumLock
- **L OS**-左 OS 固有のキー
- **L ALT**-左 ALT キー
- **R ALT**-右 ALT キー
- **R OS**-右 OS 固有のキー

.NET IRC がウィンドウの切り替え後に継続して文字を送信する

症状

別のウィンドウに切り替えると、.NET IRC は継続的に文字を送信します。

原因

.NET IRC セッション時にキーを押して、ウィンドウを切り替えた場合、キーはセッション中に押されたままの状態になります。これにより、文字が継続的に繰り返されることとなります。

アクション

.NET IRC ウィンドウをクリックして、デスクトップの前面にリモートコンソールウィンドウを移動させます。

.NET IRC が非アクティブになるか切断される

症状

.NET IRC は、稼働率が高くなると非アクティブになったり、切断されたりします。コンソールは非アクティブになる前に、動作が遅くなります。非アクティブな.NET IRC の症状には以下のものがあります。

- ・ .NET IRC の画面がアップデートされない。
- ・ キーボードおよびマウスの動作が記録されない。



- ・ 共有リモートコンソール要求が登録されない。
- ・ キャプチャされたビデオファイルを再生することはできますが、他の.NET IRC 機能が非アクティブのままです。

解決方法 1

原因

複数のユーザーが iLO にログインしています。

アクション

- ・ 同時 iLO ユーザーセッション数を減らします。
- ・ iLO をリセットします。

解決方法 2

原因

接続されている仮想メディアセッションは、継続したコピー動作の実行に使用されています。継続したコピー動作が優先されるため、.NET IRC の同期が失われます。やがて仮想メディア接続が何度かリセットされ、OS が仮想メディアクライアントとの同期を失います。

アクション

- ・ .NET IRC と仮想メディアを接続しなおします。
- ・ iLO をリセットします。

.NET IRC がサーバーに接続できない

症状

iLO は.NET IRC セッションの確立時に Failed to connect to server というメッセージを表示します。

解決方法 1

原因

ネットワークの応答が遅延している。.NET IRC クライアントは、iLO との接続が確立されるまで一定の時間待機します。一定の時間が経過してもクライアントサーバーが応答を受信しない場合は、エラーメッセージが表示されます。



アクション

ネットワーク遅延を修正して、.NET IRC 接続を再試行します。

解決方法 2

原因

共有リモートコンソールセッションが要求されたが、セッションリーダーの受諾または拒否のメッセージ送信が遅延している。.NET IRC クライアントは、iLO との接続が確立されるまで一定の時間待機します。一定の時間が経過してもクライアントサーバーが応答を受信しない場合は、エラーメッセージが表示されます。

アクション

.NET IRC セッションリーダーに問い合わせさせて要求の再試行を行うか、リモートコンソール取得機能を使用してください。

.NET IRC がアプリケーション要件を確認するのに長い時間がかかる (Internet Explorer)

症状

.NET IRC を iLO Web インターフェイスから起動すると、**アプリケーションの起動中**ダイアログボックスが表示され、その画面が長い間表示される。

アクション

1. Internet Explorer を起動します。
2. ツール > インターネットオプションの順に選択します。
インターネットオプションウィンドウが開きます。
3. 接続タブをクリックし、LAN の設定ボタンをクリックします。
ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定ウィンドウが開きます。
4. 設定を自動的に検出するチェックボックスの選択を解除します。
5. オプション：必要に応じてプロキシサーバーの設定を行います。
6. ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定ウィンドウを閉じるには、OK をクリックします。
7. OK をクリックして、インターネットオプションウィンドウを閉じます。
8. すべてのブラウザウィンドウを閉じます。
9. ブラウザーを再起動し、iLO にログインし、.NET IRC を起動します。

アプリケーションを起動できないことを示すダイアログボックスが.NET IRC に表示される (Internet Explorer)

症状

Internet Explorer を使用して.NET IRC を起動するときに次のメッセージが表示される。

```
Application cannot be started. Contact the application vendor.
```

アクション

Windows コマンドプロンプトから次のコマンドを入力して、ClickOnce アプリケーションキャッシュをクリアします。`rundll32 %windir%\system32\dfshim.dll CleanOnlineAppCache`

アプリケーションを起動できないことを示すダイアログボックスが.NET IRC に表示される (新しい Microsoft Edge)

症状

新しい Microsoft Edge を使用して.NET IRC を起動するときに次のメッセージが表示される。

```
Cannot download the application. The application is missing required files. Contact application vendor for assistance.
```

原因

ブラウザーが ClickOnce をサポートするように構成されていません。

⚠ 警告: この機能は、Microsoft Edge の実験的なブラウザー機能として利用できます。この実験的機能は自己責任で使用してください。この機能を有効にする前に、Microsoft のドキュメントを読んで、機能と関連するリスクを確認してください。

アクション

1. 新しい Microsoft Edge ブラウザーで、`edge://flags` に移動します。
2. `ClickOnce` を検索します。
3. `ClickOnce Support` を有効に設定します。
Microsoft Edge が、ブラウザーを再起動すると変更が有効になることを通知します。
4. `再起動` をクリックします。

アプリケーションが不適切にフォーマットされていることを示すダイアログボックスが.NET IRC に表示される

症状

.NET IRC の起動時に次のメッセージが表示される。

```
Cannot continue. The application is improperly formatted. Contact the application vendor for assistance.
```



原因

.NET IRC を起動するために使用したクライアントシステムは、.NET Framework の最小要件を満たしていません。

iLO 5 1.20 以降では、.NET IRC に新しい SHA256 署名証明書が付与されています。この証明書によって、旧バージョンの .NET IRC で使用されていた SHA1 署名証明書が置き換えられました。

バージョン 4.5.1 以降の .NET Framework は、新しい証明書をサポートする必要があります。

アクション

.NET Framework 4.5.1 以降をインストールしてから .NET IRC をもう一度試します。

セキュリティ警告ダイアログボックスが .NET IRC に表示される

症状

.NET IRC を起動すると、iLO に次のセキュリティ警告が表示される。

このアプリケーションはコンピューターにセキュリティ上のリスクをもたらす可能性があるため、管理者がブロックしました。

解決方法 1

原因

ネットワーク管理者が ClickOnce アプリケーションの起動をブロックしました。

アクション

1. 手順については、システム管理者に確認してください。

考えられる解決方法は以下のとおりです。

- ・ ネットワーク構成をアップデートして、ClickOnce アプリケーションを起動できるようにします。
- ・ HTML5 コンソールや Java ベースのコンソールなど、別のリモートコンソールを使用します。

解決方法 2

原因

システムのアップデートまたはアプリケーションのインストールにより、レジストリの .NET Framework セキュリティ設定が変更されました。

アクション

1. レジストリエディターを起動します。



- △ 注意:** レジストリエディターは自己責任において使用し、変更する前にレジストリをバックアップしてください。レジストリエディターの使用を誤ると、深刻な問題を引き起こす恐れがあり、その場合は OS の再インストールが必要になることがあります。詳しくは、Microsoft Knowledge Base の Article ID 番号 256986 を参照してください。上級ユーザー向けの Windows レジストリ情報。

2. HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\.NETFramework\Security\TrustManager\PromptingLevel に移動します。
3. LocalIntranet と Internet の値がデフォルト値（有効）に設定されていることを確認します。

.NET IRC を共有できない

症状

共有.NET IRC セッションに参加しようとしたときに、**接続できません**ダイアログボックスと次のメッセージが表示されます。

共有された IRC に接続できません。これはファイアウォールがポート <リモートコンソールのポート番号>をブロックしているためです。

アクション

- ・ セッションリーダーの.NET IRC クライアントと各共有.NET IRC クライアントの間に通信パスが存在することを確認します。
- ・ すべてのクライアントのファイアウォール設定が、リモートコンソールポートへのインバウンド接続を許可していることを確認します。デフォルトポートは 17990 です。

.NET IRC がレガシーバージョンの Microsoft Edge で起動しない

症状

Microsoft Edge バージョン 42.以降で NET IRC を起動すると、アプリケーションの起動に失敗する。アドレスバーに**ブロックされたコンテンツ**アイコンが表示される。

原因

iLO システムがデフォルトの iLO SSL 証明書（署名されている信頼済み証明書ではない）を使用している場合、iLO の Web インターフェイスは、HTTPS ではなく HTTP を使用して、.NET IRC を起動します。この構成では、iLO の Web インターフェイスは HTTPS を使用し、Web インターフェイスは HTTP を使用してリモートコンソールを起動します。Microsoft Edge バージョン 42 以降はリダイレクトをブロックし、**ブロックされたコンテンツ**アイコンを表示します。

アクション

以下の解決策を試してください。

- ・ iLO に SSL 証明書をインポートし、**iLO 内蔵リモートコンソールページの IRC は iLO 内の信頼済みの証明書を要求しません**設定を有効にします。この構成が最も安全な解決方法です。
- ・ アドレスバーの**ブロックされたコンテンツ**アイコンをクリックして、**すべてのコンテンツを表示**をクリックします。

このアクションで、現在のセッションのブロックされたコンテンツが承認されます。

- ・ Internet Explorer を使用して、.NET IRC を実行します。
- ・ スタンドアロンの IRC を使用します。
スタンドアロンの IRC を次の Web サイトからダウンロードできます。<https://www.hpe.com/support/ilo5>
- ・ iLO モバイルアプリを使用します。
詳しくは、HPE iLO 5 ユーザーガイドを参照してください。

.NET IRC が新しい Microsoft Edge で起動しない

症状

新しい Microsoft Edge で .NET IRC を起動すると、アプリケーションの起動に失敗する。エラーメッセージは表示されません。

原因

iLO システムがデフォルトの iLO SSL 証明書（署名されている信頼済み証明書ではない）を使用している場合、iLO の Web インターフェイスは、HTTPS ではなく HTTP を使用して、.NET IRC を起動します。この構成では、iLO の Web インターフェイスは HTTPS を使用し、Web インターフェイスは HTTP を使用してリモートコンソールを起動します。新しい Microsoft Edge はリダイレクトをブロックします。

アクション

以下の解決策を試してください。

- ・ iLO に SSL 証明書をインポートし、**iLO 内蔵リモートコンソールページの IRC は iLO 内の信頼済みの証明書を要求しません**設定を有効にします。この構成が最も安全な解決方法です。
- ・ 接続を許可するようにブラウザを構成します。
 1. ブラウザーで、`edge://settings/content/insecureContent` に移動します。
 2. **追加**をクリックします。
サイトの追加ウィンドウが開きます。
 3. サーバーのホスト名または IP アドレスを追加して、**追加**をクリックします。
- ・ Internet Explorer を使用して、.NET IRC を実行します。
- ・ スタンドアロンの IRC を使用します。
スタンドアロンの IRC を次の Web サイトからダウンロードできます。<https://www.hpe.com/support/ilo5>
- ・ iLO モバイルアプリを使用します。
詳しくは、HPE iLO 5 ユーザーガイドを参照してください。

マウスまたはキーボードが内蔵リモートコンソールで機能しない

症状

マウスまたはキーボードが内蔵リモートコンソールで機能しません。

解決方法 1

アクション

.NET IRC または Java IRC (Java Web Start または Java Applet) の場合 :

1. リモートコンソールを閉じます。
2. 電力設定ページに移動します。
3. マウス、キーボードの持続接続チェックボックスをクリアし、適用をクリックします。
4. リモートコンソールを起動します。

解決方法 2

アクション

.NET IRC または Java IRC (Java Web Start または Java Applet) の場合 :

1. カーソルを右クリックしてリモートコンソールウィンドウの外側にドラッグしてから、内側にドラッグして戻してください。

解決方法 3

アクション

Java IRC (Java アプレット) の場合 :

1. ブラウザーウィンドウを閉じて、新しいブラウザを開きます。
2. Java コントロールパネルを開きます。
3. **Java Runtime Environment 設定**ダイアログボックスに移動します。
4. 次のランタイムパラメーターを追加します。 -Dsun.java2d.d3d=false。
5. **OK** をクリックして **Java Runtime Environment 設定**ウィンドウを閉じます。
6. **適用**をクリックし、**了解**をクリックして Java コントロールパネルを閉じます。
適用をクリックする前に変更内容を表示すると、ランタイムパラメーターダイアログボックスがリセットされ、編集内容が失われることがあります。
7. ブラウザーを起動して、iLO にログインします。
8. Java IRC を再び起動します。

Linux クライアントで Firefox を使用して Java IRC を実行すると、Java IRC に赤色の X が表示される

症状

Linux システム上で Java IRC を実行すると、Java IRC に赤色の X アイコンが表示されます。

原因

Firefox が cookie を受け入れる設定になっていません。

アクション

cookie を受け入れるように Firefox を構成します。



パフォーマンスに関する問題

iLO の Web インターフェイスにパフォーマンス機能がない

症状

パフォーマンスメニューが利用できないか、iLO の Web インターフェイスに 1 つ以上のパフォーマンスページが表示されない。

解決方法 1

原因

このサーバーでは Innovation Engine がサポートされていません。

アクション

Innovation Engine のサポートをサポートしていないサーバーでは、パフォーマンスページは表示されません。

Innovation Engine がサポートされているかどうかを確認するには、インストールされたファームウェアページで Innovation Engine ファームウェアを検索します。

解決方法 2

原因

サーバー構成が、パフォーマンス機能を使用するための iLO ライセンスまたはサーバーファームウェアの前提条件を満たしていません。

アクション

HPE iLO 5 ユーザーガイドで前提条件を確認してください。必要に応じて、ライセンスまたはサーバーファームウェアアップデートをインストールしてください。

解決方法 3

原因

iLO の Web インターフェイスからサーバーのリセットが開始されました。

アクション

1. サーバーのリセットが終了するまで待ちます。
2. iLO Web インターフェイスのブラウザウィンドウを更新します。

解決方法 4

原因

iLO が工場出荷時のデフォルト設定にリセットされた。



アクション

1. サーバーを再起動します。
2. iLO をリセットします。
3. iLO にもう一度ログインします。

解決方法 5

原因

サーバー上の MCTP 検出が無効です。

アクション

サーバーで MCTP 検出を有効にします。

手順については、HPE iLO 5 ユーザーガイドを参照してください。

プロセッサジッター制御最適化を構成できない

症状

パフォーマンスの設定ページにプロセッサジッター制御最適化の値として値使用不可が表示され、機能を構成できない。

原因

iLO が工場出荷時の設定にリセットされ、サーバーの再起動が完了していませんでした。

アクション

1. サーバーのオペレーティングシステムを再起動します。
2. プロセッサジッター制御最適化の設定を構成します。

プロセッサジッター制御モードで無効状態が表示されて構成できない

症状

プロセッサジッター制御モードが無効で、iLO Web インターフェイスから有効にできない。

原因

パワーレギュレーターが、OS 制御モードを使用するように構成されています。パワーレギュレーターがこのモードに合わせて構成されていると、プロセッサジッター制御モードを有効にできません。

注記: 仮想化 - 電力効率 Workload Matching プロファイルで、パワーレギュレーターが OS 制御モードを使用するように設定されます。



アクション

以下の解決策を試してください。

- ・ パワーレギュレーター構成を別のモードに変更します。
- ・ **仮想化 - 電力効率 Workload Matching** プロファイルを使用する予定の場合は、別のプロファイルに変更します。



テキストベースのリモートコンソールの問題

テキストベースのリモートコンソールで Linux インストーラーを表示できない

症状

テキストベースのリモートコンソールから Linux をインストールすると、Linux インストーラー画面が表示されません。

原因

画面はグラフィックモードで表示されます。

アクション

- ・ ほとんどのバージョンの Linux では、`linux text nofb` と入力します。
入力する文字は表示されません。
コマンドを入力すると、画面がグラフィックモードからテキストモードに変更され、画面が表示されます。
- ・ SuSE Linux Enterprise Server の場合は、テキストコンソールで **F2** キーと下向きの矢印キーを押します。テキストモードが選択され、画面が表示されます。

SSH ターミナル経由でデータを送信できない

症状

SSH ターミナルからテキストベースのリモートコンソールにキーストロークデータが送信されません。

原因

SSH ターミナルを使用してテキストコンソールにアクセスする場合、SSH によってキーストロークデータの送信が阻止され、操作がテキストベースのリモートコンソールに伝わらないことがあります。この動作が発生すると、キーストロークが機能していないように見えます。

アクション

SSH ターミナルのショートカットを無効にします。

シリアルタイムアウト時間内の VSP 主導の選択によって、出力が VSP ではなく BIOS リダイレクトに送信される

症状

シリアルタイムアウト時間内の VSP 主導の選択によって、出力が VSP ではなく BIOS リダイレクトに送信されます。

原因

/etc/grub.conf ファイルには、シリアルタイムアウト時間のオプションが含まれています (terminal --timeout=10 serial console)。このオプションは、VSP または VGA コンソールでキーストロークを選択する際の制限時間を指定し、対応するデバイスにメニューが出力されます。BIOS シリアルリダイレクトは、このタイムアウト時間内に VSP キーストロークをインターセプトしません。

アクション

10 秒のタイムアウト時間内に VSP 主導の選択のキーを押さないようにするか、または VSP への BIOS リダイレクトを無効にします。

スクロールとテキストが、BIOS リダイレクト中にイレギュラーに見える

症状

BIOS リダイレクト中にスクロールとテキストが正しく表示されません。ROM ベースのユーティリティでコマンドを入力すると、そのテキストがターミナルウィンドウの最下行で上書きされることがあります。

原因

BIOS は、固定長の 80x24 文字ウィンドウを予期して制御します。シリアルポートにリダイレクトした場合も、BIOS は依然として固定長の 80x24 文字ウィンドウを予期して制御します。VSP クライアント (SSH、HyperTerminal、または他のターミナルエミュレーター) がウィンドウのサイズを 80x24 以外に変更できる場合は、スクロール機能で混乱が生じ、出力が正しく表示されません。

アクション

ターミナルエミュレーターのウィンドウサイズを正確に 80x24 文字に構成してください。



ディレクトリの問題

Kerberos 認証による iLO へのログインが失敗する

症状

Kerberos へのログインを試みて失敗しました。

解決方法 1

原因

クライアントにチケットがないか、チケットが無効である。

アクション

クライアント PC をロックして新しいチケットを取得するには、**Ctrl+Alt+Del** を押します。

解決方法 2

原因

Kerberos ログインの設定が誤っています。考えられる原因は、以下のとおりです。

- ・ クライアント PC がログインしている Kerberos レalmが、iLO が設定されている Kerberos レalmと一致しない。
- ・ iLO に保存されている Kerberos キータブファイル内のキーが、Active Directory のキーと一致しない。
- ・ iLO が不正な KDC サーバーアドレス用に構成されている。
- ・ クライアント PC、KDC サーバー、および iLO の間で、日時が一致しない。これらのシステム上の日時を同じ値に設定します。これらのシステム上の日時は 5 分以上異なってはいけません。

アクション

ご使用の環境が、Kerberos サポートの要件を満たしていることを確認します。

詳しくは、iLO のユーザーガイドを参照してください。

解決方法 3

原因

ディレクトリユーザーアカウントに関わる問題があります。次のような問題が考えられます。

- ・ iLO コンピューターアカウントが Active Directory 内に存在しないか、アカウントが無効になっている。
- ・ クライアント PC にログインしているユーザーが、iLO アクセスを認可された（汎用またはグローバルな）ディレクトリグループのメンバーでない。

アクション

ユーザーアカウントが存在することと、そのユーザーアカウントが iLO へのアクセス権のあるグループのメンバーであることを確認します。

解決方法 4

原因

DNS サーバーが正常に稼働していない。iLO では、Kerberos をサポートするために、稼働している DNS サーバーが必要です。

アクション

DNS サーバーを修復します。

解決方法 5

原因

ブラウザが正しく設定されていない。

アクション

ブラウザが Kerberos ログイン用に正しく設定されていることを確認します。

Kerberos ログインの試行中に iLO 認証情報プロンプトが表示される

症状

ユーザーが **Zero** サインインボタンをクリックしたとき、認証情報プロンプトが表示されます。

原因

ブラウザが Kerberos ログイン用に正しく構成されていません。

アクション

Kerberos ログインをサポートするようにブラウザを構成します。

手順については、iLO ユーザーガイドを参照してください。

名前による Kerberos ログインの試行中に iLO 認証情報プロンプトが表示される

症状

ユーザーが Kerberos SPN 形式のユーザー名および関連付けられているドメインパスワードを使用して iLO にログインしようとするときに、認証情報プロンプトが表示されます。



原因

iLO 用のコンピューターアカウントは子ドメインの一部であり、Kerberos 構成パラメーターは親ドメインを参照します。

アクション

以下の Kerberos パラメーターが正しく構成されていることを確認します。**Kerberos Realm**、**Kerberos KDC Server Address**、**Kerberos KDC Server Port**。

手順については、iLO ユーザーガイドを参照してください。

iLO へのディレクトリ接続が途中で終了する

症状

アクティブディレクトリセッションが途中で終了します。

原因

ネットワークエラーによって、iLO は、ディレクトリ接続が無効になったと判断することがあります。iLO がディレクトリを検出できない場合、iLO は、ディレクトリ接続を終了します。終了された接続を使用して作業の継続を試みても、ブラウザーは、ログインページに転送されます。

この問題は、以下の状況で発生する可能性があります。

- ・ ネットワーク接続が切断された。
- ・ ディレクトリサーバーがシャットダウンした。

アクション

ログインなおして iLO の使用を継続します。

ディレクトリサーバーを使用できない場合は、ローカルユーザーアカウントを使用してログインします。

構成されているディレクトリユーザーコンテキストが iLO ログインで動作しない

症状

ディレクトリユーザーコンテキストが構成されていますが、ディレクトリユーザーコンテキストが提供するログインオプションが機能しません。

原因

ディレクトリまたはユーザーコンテキスト内のユーザーオブジェクトが正しく構成されていません。

アクション

- ・ ユーザーオブジェクトの完全な DN がディレクトリに存在することを確認します。
この情報は DN の最初の CN=の後にあります。
- ・ DN の残りの部分はユーザーコンテキストとして追加されていることを確認します。



ユーザーコンテキストは、大文字と小文字を区別しません。また、それ以外の文字は、空白も含めて、ユーザーコンテキストの一部です。

ディレクトリタイムアウトになった後もディレクトリユーザーアカウントがログアウトしない

症状

ディレクトリユーザーは、ディレクトリログインタイムアウトのために構成された時間が経過した後、ログアウトされません。

原因

iLO セッションがタイムアウトしないように、iLO のアイドル接続タイムアウト値は無限に設定されています。iLO セッションがアクティブになると、iLO ファームウェアはディレクトリに定期的にユーザーパーミッションをクエリします。このクエリによりディレクトリ接続がアクティブであり続け、ディレクトリタイムアウト設定に基づくユーザーのログアウトが行われなくなります。

アクション

- ・ iLO の使用が終わったらログアウトします。
- ・ アイドル接続タイムアウト設定を変更します。

iLO Zero サインイン構成用の Kerberos キータブファイルの生成の失敗

症状

ktpass を使用してキータブファイルを生成しようとしたときにプロセスが失敗します。

原因

ktpass コマンドの書式が正しくありませんでした。

アクション

もう一度実行し、ktpass コマンド内のプリンシパル名の書式が正しいことを確認してください。

iLO Kerberos 構成での Setspn の実行中のエラー

症状

Setspn コマンドの実行中にエラーが発生しました。

アクション

1. ADSIEdit スナップインを備えた MMC を使用し、iLO のコンピューターオブジェクトを検索します。
2. DNSHostName プロパティを iLO の DNS 名に設定します。
例 : cn=iloname,ou=us,ou=clients,dc=example,dc=net

OpenLDAP 認証は、入れ子型グループまたは posixgroups で構成されている場合に失敗します。

症状

OpenLDAP 認証は、ディレクトリが入れ子型グループまたは posixgroups ディレクトリで構成されている場合に失敗します。

原因

iLO では、OpenLDAP での入れ子型グループまたは posixgroups をサポートしません。

アクション

iLO に LDAP ユーザーがダイレクトメンバーシップを持つグループを構成します。OpenLDAP ディレクトリグループがタイプ groupOfNames の objectClass を持つことを確認します。

ドメインコントローラー OS の再インストール後に iLO Zero サインインが失敗する

症状

ドメインコントローラー OS を再インストールした後に iLO Web インターフェイスの Zero サインインオプションが動作しません。

原因

ドメインコントローラー OS が再インストールされると、キーバージョン番号がリセットされます。

アクション

新しい Kerberos キータブファイルを生成してインストールします。

Active Directory の認証情報での iLO ログインに失敗する

症状

Active Directory を使用するように iLO が構成されている場合にユーザー認証に失敗します。

原因

証明書の問題があります。

- ・ Active Directory サーバーに SSL 証明書がインストールされていません。
- ・ Active Directory サーバー上の古い SSL 証明書は、現在の証明書の CA と同じ名前の以前の信頼済み CA を指しています。これは、証明書サービスが追加された後削除され、再度、追加された場合に発生することがあります。

ディレクトリテストページの SSL 接続テスト結果を確認することによって、この原因を確認できます。



アクション

1. MMC を起動します。
2. 証明書スナップインを追加します。
3. プロンプトが表示されたら、表示する証明書のタイプとして**コンピューターアカウント**を選択します。
4. 証明書スナップインに戻るために、**OK** をクリックします。
5. **個人 > 証明書フォルダー**を選択します。
6. フォルダーを右クリックして、**新しい証明書の要求**を選択します。
7. **証明書の種類**がドメインコントローラーになっていることを確認したら、証明書が発行されるようになるまで**次へ**をクリックします。

Directory Server DNS Name テストで失敗が報告される

症状

Directory Server DNS Name テストで、ステータス**失敗**が報告されます。

原因

iLO は、ディレクトリサーバーの IP アドレスを取得できません。

アクション

- ・ iLO に設定されている DNS サーバーが正しいことを確認します。
- ・ ディレクトリサーバーの FQDN が正しいことを確認します。
- ・ トラブルシューティングツールとして、FQDN の代わりに IP アドレスを使用します。
- ・ 問題がなくなる場合は、DNS サーバーの記録とネットワークルーティングをチェックします。

ディレクトリサーバーへの Ping テストが失敗を報告する

症状

ディレクトリサーバーへの Ping テストが**失敗**ステータスを報告します。

原因

iLO は、ディレクトリサーバーを Ping し、応答を受信しませんでした。

アクション

- ・ ディレクトリサーバーでファイアウォールが有効かどうかをチェックします。
- ・ ネットワークルーティング問題をチェックします。



Connect to Directory Server テストで失敗が報告される

症状

Connect to Directory Server テストで、ステータス**失敗**が報告されます。

原因

指定したディレクトリサーバーとの LDAP 接続を iLO が開始できませんでした。

アクション

- ・ 構成されたディレクトリサーバーが正しいホストであることを確認します。
- ・ (iLO とディレクトリサーバー間のすべてのルーターやファイアウォールを考慮して) iLO がポート 636 経由でディレクトリサーバーとのクリアな通信パスを持っていることを確認します。
- ・ ディレクトリサーバー上のローカルファイアウォールが有効になっており、ポート 636 経由で通信できることを確認します。

Connect using SSL テストで失敗が報告される

症状

Connect using SSL テストで、ステータス**失敗**が報告されます。

原因

iLO とディレクトリサーバー間の SSL ハンドシェイクと交渉が失敗しました。

アクション

- ・ ディレクトリサーバーで SSL 交渉を有効にします。
- ・ Microsoft Active Directory を使用する場合は、Active Directory 証明書サービスがインストールされていることを確認します。

Bind to Directory Server テストで失敗が報告される

症状

Bind to Directory Server テストで、ステータス**失敗**が報告されます。

原因

iLO は、指定されたユーザー名との接続のバインドまたは匿名バインドに失敗しました。

アクション

- ・ ディレクトリサーバーが匿名バインドを許可することを確認します。
- ・ テストボックスにユーザー名を入力した場合は、認証情報が正しいことを確認します。



- ・ ユーザー名が正しいことを確認した場合は、`user@domain.com`、`DOMAIN\username`、`username` (Active Directory の表示名)、または `userlogin` のような他のユーザー名フォーマットを使用してみてください。
- ・ 指定したユーザーがログインを許可され、有効であることを確認します。

Directory Administrator Login テストで失敗が報告される

症状

Directory Administrator Login テストで、ステータス**失敗**が報告されます。

原因

オプションのディレクトリ管理者識別名およびディレクトリ管理者パスワードボックスに値を入力しましたが、ディレクトリサーバーへのログインが失敗しました。

アクション

ディレクトリ管理者の認証情報が正しく入力されていることを確認します。

ユーザー認証テストで失敗が報告される

症状

ユーザー認証テストで**失敗**ステータスが報告されます。

原因

入力されたユーザー名とパスワードを使用した認証に失敗しました。

アクション

- ・ ユーザー認証情報が正しく入力されていることを確認してください。
- ・ `user@domain.com`、`DOMAIN\username`、`username` (Active Directory の表示名)、または `userlogin` のような他のユーザー名形式を使用してみてください。
- ・ 指定したユーザーがログインを許可され、有効であることを確認します。
- ・ 指定したユーザーアカウントにアクセス制限が構成されているかどうかを確認します。

ユーザー承認テストで失敗が報告される

症状

ユーザー承認テストで**失敗**ステータスが報告されます。

原因

入力されたユーザー名とパスワードを使用した承認に失敗しました。



アクション

- ・ 指定したユーザー名が指定したディレクトリグループに属することを確認します。
- ・ 指定したユーザーアカウントにアクセス制限が構成されているかどうかを確認します。

ディレクトリユーザーコンテキストテストで失敗が報告される

症状

ディレクトリユーザーコンテキストテストで、ステータス**失敗**が報告されます。

原因

iLO が、指定された**ディレクトリ管理者識別名**を使用して、指定されたユーザーコンテキストを検索するときに、ディレクトリでコンテナが見つかりませんでした。

アクション

検索コンテキストが正しく入力されていることを確認します。

LOM Object Exists テストで失敗が報告される

症状

LOM Object Exists テストでステータス**失敗**が報告されます。

原因

iLO は、**セキュリティ - ディレクトリページ**に設定されている **iLO オブジェクト識別名**で指定されたディレクトリオブジェクトを見つけられませんでした。

アクション

- ・ iLO オブジェクトの LDAP FQDN が正しいことを確認します。
- ・ HPLOMIG ソフトウェアを使用して、ディレクトリサーバー内の HPE 拡張スキーマとスナップインをアップデートします。



リモートサポートの問題

Insight RS 登録中の SSL Bio エラー

症状

サーバーを Insight Remote Support Central Connect に登録しようとする時、SSL Bio エラーというエラーが発生する場合があります。

アクション

1. iLO 設定権限を持つアカウントを使用して iLO にログインします。
2. ナビゲーションツリーで**情報**をクリックし、**診断**タブをクリックします。
3. **リセット**をクリックします。
リセットを使用しても構成は変化しませんが、iLO とのアクティブな接続が終了し、実行中のファームウェアアップデートが完了します。
4. リセットが終了したら、iLO の Web インターフェイスにログインし、登録手順を再実行します。

Insight Online または Insight RS でサーバー名によってサーバーが識別されない

症状

Insight Online または Insight RS でサーバーが<サーバー名>として識別されない。ただし、Insight Online では<製品名>_<シリアル番号>として、Insight RS では<シリアル番号>として識別される。

原因

iLO がサーバー名を検出する前に、サーバーがリモートサポートに登録されていました。

アクション

1. 次のいずれかを実行します。
 - ・ AMS が有効であり、オペレーティングシステムが実行されていることを確認します。
 - ・ iLO Web インターフェイスの**アクセス設定**ページで、サーバー名をアップデートします。
 - ・ Windows システムのみ: オペレーティングシステムを起動します。Insight Online と Insight RS は、サーバーを識別するために、Windows コンピューター名を使用します。
2. 手順 1 を実行したときにアクティブな Insight Online セッションがあった場合は、更新ボタンをクリックして Insight Online の表示をそのサーバー名にアップデートします。



サーバーの OS 名とバージョンが Insight RS または Insight Online に表示されない

症状

サーバーの OS 名とバージョンが Insight RS または Insight Online に表示されない。

原因

サーバーがリモートサポートに登録されたときに、オペレーティングシステムと Agentless Management Service (AMS) が実行されていませんでした。このような状況では、iLO はどの OS がインストールされているかを判別できません。OS 情報をアップデートするために、iLO は AMS から OS 情報を取得する必要があります。

アクション

1. 次を確認します。
 - ・ iLO ファームウェアのサポート対象バージョンがインストールされている。
 - ・ AMS が有効であり、OS が実行されている。
 - ・ Insight Remote Support Central Connect のみ : Insight RS のサポート対象バージョンがホストサーバーにインストールされている。詳しくは、<https://www.hpe.com/support/InsightRS-Support-Matrix> を参照してください。
 - ・ Insight Remote Support Central Connect のみ : サーバーの RIBCL 認証情報が Insight RS Console で入力され、ProLiant サーバーに関連付けられている。
2. iLO Web インターフェイスの**データ収集**ページで、データ収集プロセスを開始します。
データ収集プロセスで、OS 名とバージョンが Insight RS と Insight Online に転送されます。
3. 前の手順を実行したときにアクティブな Insight Online セッションがあった場合は、更新ボタンをクリックします。
OS 名とバージョンが、Insight Online の**デバイス構成の詳細**ページに表示されます。

Insight Online Direct Connect に登録中の接続エラー

症状

サーバーを Insight Online Direct Connect に登録しようとすると、次のエラーが発生します。Cannot connect to remote host. (リモートホストに接続できません。)

原因

iLO で DNS 設定が正しく構成されていません。



アクション

iLO で DNS 情報が正しく構成されていることを確認します。

iLO Insight Online Direct Connect 登録中に iLO セッションが予期せず終了する

症状

サーバーを Insight Online Direct Connect に登録しようとする時、セッションが失効しましたのエラーが発生して、iLO Web インターフェイスセッションが予期せず終了します。

原因

iLO で DNS 設定が正しく構成されていません。

アクション

DNS 設定が正しく構成されていることを確認します。

Insight RS または Insight Online でサーバーのヘルスステータスが赤色になる

症状

Insight RS または Insight Online では、リモートサポートに登録されているサーバーが赤色のステータスで表示されます。

原因

サーバー保証の期限が切れています。

アクション

リモートサポートを受けるには、有効な契約または保証が必要です。

保証の期限が切れた後でも、引き続き iLO の機能を使用してサーバーを監視および管理できます。

Insight Online または Insight RS でサーバー名によってサーバーが識別されない

症状

Insight Online または Insight RS でサーバーが<サーバー名>として識別されない。ただし、Insight Online では<製品名>_<シリアル番号>として、Insight RS では<シリアル番号>として識別される。

原因

iLO がサーバー名を検出する前に、サーバーがリモートサポートに登録されていました。



アクション

1. 次のいずれかを実行します。
 - ・ AMS が有効であり、オペレーティングシステムが実行されていることを確認します。
 - ・ iLO Web インターフェイスの**アクセス設定**ページで、サーバー名をアップデートします。
 - ・ Windows システムのみ: オペレーティングシステムを起動します。Insight Online と Insight RS は、サーバーを識別するために、Windows コンピューター名を使用します。
2. 手順 1 を実行したときにアクティブな Insight Online セッションがあった場合は、更新ボタンをクリックして Insight Online の表示をそのサーバー名にアップデートします。

リモートサポートデータが Hewlett Packard Enterprise に送信されたときにサーバー情報が上書きされる

症状

データが Hewlett Packard Enterprise に送信されたときに Insight RS と Insight Online でサーバー情報が上書きされます。

原因

サーバーが Central Connect と Direct Connect の両方のリモートサポートに登録されており、データ収集情報が 2 つの異なる通信パスから Hewlett Packard Enterprise に送信されています。

アクション

- ・ Insight Remote Support Central Connect を引き続き使用するには、Insight Online Direct Connect からサーバーを登録解除し、Insight RS ホストサーバーでサーバーを再検出します。
- ・ Insight Online Direct Connect を引き続き使用するには、Insight Remote Support 管理対象デバイス構成ガイドに説明されているとおりに、Insight Remote Support Central Connect からサーバーを登録解除します。

OS 情報が Insight Online に正しく表示されない

症状

OS 情報が Insight Online デバイスページの上部に表示されますが、デバイスの**設定**セクションには**不明**として表示されます。



アクション

Insight Online の更新ボタンをクリックします。

システムボードを交換したサーバーで、Insight Online Direct Connect が動作を停止する

症状

Insight Online Direct Connect に登録されたサーバーのシステムボードを交換したら、リモートサポート接続が動作しなくなります。

原因

サーバーのシステムボードが交換され、サーバーが Insight Online で認識されなくなっています。

アクション

1. サーバーを再登録します。
 - a. システム RBSU または UEFI システムユーティリティを使用してシステム製品番号とシリアル番号を SMBIOS にプログラムします。
詳しくは、ROM ベースのシステムユーティリティユーザーガイドを参照してください。
 - b. 新しいリモートサポート登録の場合と同様にサーバーを登録します。

Central Connect デバイスの重複レコードが Insight Online に存在する

症状

同じ Central Connect デバイスが 2 回検出されると、Insight Online に重複レコードが作成されます。

原因

以下の場合に、Insight Online にデバイスの重複レコードが作成される可能性があります。

- ・ Insight RS がデバイスについて、以下のような不完全な詳細を検出しました。OS とネットワークの情報は検出されましたが、シリアル番号または製品番号が検出されませんでした。Insight RS がデバイスを再検出すると、そのデバイスに関する情報の完全なセットが取得されます。
- ・ デバイスの SNMP トラップ転送がホストサーバーに設定されていて、Insight RS がデバイスを検出する前に、ホストサーバーがイベントを受信しました。



アクション

なし。この時点では、重複したレコードを削除できません。

デバイスの無償保証が Insight RS に期限切れとして不正に表示される

症状

有効な無償保証を備えたデバイスが Insight RS で期限切れの保証として表示されます。

解決方法 1

原因

ホスティングデバイスセットアップウィザードの**サイト情報**ページで、無効な情報が入力されました。

アクション

サイト情報ページで有効な情報を入力したことを確認します。

解決方法 2

原因

HPE パスポートアカウントに国名/地域名が入力されていません。

アクション

国名/地域名を含めるように HPE パスポートアカウントをアップデートします。

サービスイベントおよび収集が Insight RS Console に不正なタイムスタンプを表示する

症状

イベント時間とイベント処理時間との間に矛盾があります。

原因

監視対象デバイスの時間またはタイムゾーンの設定が正しくありません。

Insight RS Console でサービスイベントおよび収集を表示すると、表示されている時間はブラウザーに設定されているタイムゾーンに変換されます。この機能により、ユーザーは自身のローカルタイムゾーンを使用してイベントのタイミングを参照することができます。

アクション

監視対象デバイスの時間およびタイムゾーンの設定を確認します。タイムゾーンがタイムサーバーまたは DHCP を使用して設定されている場合は、そのタイムサーバーまたは DHCP が正しく構成されていて、適切な時間に設定されていることを確認します。



ホストサーバーの時間は参照として使用されるため、この問題は Hewlett Packard Enterprise または Hewlett Packard Enterprise 認定サービスパートナーによって提供されるサービスには影響しません。



iLO 連携の問題

iLO 連携ページでクエリエラーが発生する

症状

iLO 連携ページを開いたときに、iLO ピアおよび関連付けられたデータがページに表示されないことがあり、次のエラーが表示されます。

Errors occurred during query, returned data may be incomplete or inconsistent.

原因

このエラーはネットワーク通信エラー、構成の問題、または障害が発生した iLO システムによって、iLO 連携グループ内のすべてのシステムからデータを取得できないときに発生することがあります。

アクション

- ・ 構成済みのマルチキャストアナウンスメント間隔の 2 倍待ってから、iLO 連携ページを更新します。
iLO システムが再構成され、ローカル iLO システムと通信できない場合は、期限が切れた後でピア関係から削除されます。
- ・ マルチシステムマップページのエラーを確認します。
このページでは、iLO ピア間の通信の問題を識別することができます。
- ・ BladeSystem エンクロージャー内のサーバーブレードを使用する場合、Onboard Administrator Web インターフェイスのエンクロージャー設定 > ネットワークアクセス > プロトコルページで、エンクロージャー iLO 連携サポートが構成されているか確認します。
この設定を構成するには、Onboard Administrator 4.11 以降が必要です。
これは、エンクロージャー内のサーバーブレード間でのピアツーピア通信を許可するために必要です。
- ・ ネットワーク内のスイッチが iLO ピア間で通信できるように構成されていることを確認します。
- ・ iLO ピアのネットワークルート、サブネットマスク、IP アドレス、または HTTP ポートを変更した場合、ピアがローカル iLO システムへの通信パスを持っていることを確認します。
- ・ ローカルの iLO システムとエラーが発生したピアとの間に通信パスが存在することを確認します。
中間のファイアウォール、または iLO ネットワーク構成や HTTP ポート設定の変更により、ローカルの iLO システムとピア間の通信がブロックされる可能性があります。

iLO のマルチシステムマップページにタイムアウトエラーが表示される

症状

マルチシステムマップページに、ローカル iLO システムのピアに対する Timed Out エラーが表示されません。

原因

このエラーは、次の状況で発生する可能性があります。



- ・ ローカル iLO システムのピアに障害のあるピアがある。
- ・ 中間のファイアウォールによってローカル iLO システムとピア間の通信が妨害されている。
- ・ ネットワーク構成の変更によってローカル iLO システムとピア間の通信が妨害されている。
- ・ ピアが搭載されているエンクロージャーが、iLO 連携をサポートするように構成されていない。

アクション

- ・ 障害が発生したピアを削除するか修復します。
- ・ ネットワークが iLO ピアの間で通信できるように構成されていることを確認します。
- ・ Onboard Administrator Web インターフェイスのエンクロージャー設定 > ネットワークアクセス > プロトコルページで、iLO サーバーブレードピアを含むエンクロージャーが iLO 連携サポートに構成されていることを確認します。

この設定を構成するには、Onboard Administrator 4.11 以降が必要です。これは、エンクロージャー内のサーバーブレード間でのピアツーピア通信を許可するために必要です。

iLO マルチシステムマップページに 502 エラーが表示される

症状

マルチシステムマップページで 502 エラーが表示されます。

原因

一覧表示されているピアがローカル iLO システムからの要求を拒否しました。

アクション

ローカルの iLO システムとエラーが発生したピアとの間に通信パスが存在することを確認します。

中間のファイアウォール、または iLO ネットワーク構成や HTTP ポート設定の変更により、ローカルの iLO システムとピア間の通信がブロックされる可能性があります。

iLO マルチシステムマップページに 403 エラーが表示される

症状

マルチシステムマップページで 403 禁止/認証エラーが表示されます。

原因

ローカル iLO システムのグループキーとピア iLO システムのグループキーが一致しません。



アクション

選択したグループのメンバーになっているすべての iLO システムのグループキーが一致することを確認してください。

iLO ピアが iLO 連携ページに表示されない

症状

iLO ピア（ローカル iLO システムと同じグループ内のシステム）が iLO 連携ページに表示されていません。

アクション

- ・ 選択したグループのメンバーになっているすべての iLO システムのグループキーが一致することを確認してください。
- ・ 構成済みのマルチキャスト間隔の 2 倍待ってから、iLO 連携ページを更新します。
iLO システムが再構成され、ローカル iLO システムと通信できない場合は、期限が切れた後でピア関係から削除されます。
- ・ エンクロージャー内のサーバーブレードを使用する場合、Onboard Administrator Web インターフェイスのエンクロージャー設定 > ネットワークアクセス > プロトコルページで、エンクロージャー iLO 連携サポートが構成されているか確認します。
この設定を構成するには、Onboard Administrator 4.11 以降が必要です。これは、エンクロージャー内のサーバーブレード間でのピアツーピア通信を許可するために必要です。
- ・ ネットワーク内のスイッチが iLO ピア間で通信できるように構成されていることを確認します。
- ・ ローカルの iLO システムとエラーが発生したピアとの間に通信パスが存在することを確認します。
中間のファイアウォール、または iLO ネットワーク構成や HTTP ポート設定の変更により、ローカルの iLO システムとピア間の通信がブロックされる可能性があります。

iLO のピアが、IPv4 ネットワーク上で IPv6 アドレスで表示される

症状

IPv4 ネットワーク上の iLO ピアが iLO 連携ページに IPv6 アドレスで表示されます。



アクション

iLO 専用ネットワークポート IPv6 ページまたは iLO 共有ネットワーク IPv6 ページの iLO クライアントアプリケーションは IPv6 を最初に使用チェックボックスが選択されていないことを確認します。

iLO 連携設定タブのグループの追加と編集のコントロールが無効になっている


症状

iLO 連携グループを追加しようとする、iLO が、構成済みの最小パスワード長がグループキーのパスワードの最大長を超えていることを通知する。既存の iLO 連携グループを編集しようとする、グループキーコントロールが無効になっている。

原因

グループキーのパスワードの最大長は 31 文字です。iLO が 31 文字を超える最小パスワード長を要求するように構成されている場合は、最小パスワード長の要件を満たすことができません。

アクション

1. ナビゲーションツリーで**セキュリティ**をクリックします。
アクセス設定ページが表示されます。
2.  (アカウントサービスカテゴリの横にあります) をクリックします。
アカウントサービス設定の編集ページが開きます。
3. 31 文字以下の**最小パスワード長**の設定を入力して、**OK** をクリックします。
iLO が、アップデートが完了したことを通知します。
4. 必要に応じて、iLO 連携グループを追加および編集します。



Agentless Management、AMS、および SNMP の問題

AMS がインストールされているのに、iLO で使用できない

症状

AMS がサーバーにインストールされているのに、iLO の Web インターフェイスで利用不可と表示されま

す。

アクション

1. AMS がインストールされていることを確認します。
2. AMS を再起動します。
3. iLO をリセットします。

HPE SIM から SNMP 情報を取得できない

症状

HPE SIM が iLO から転送された SNMP 情報を受信しません。

原因

iLO と管理 PC が同じサブネット上に存在しません。

アクション

1. 管理 PC から iLO に Ping を送信して、iLO と管理 PC が同じサブネット上に存在することを確認しま
- す。
2. Ping が正常に送信されない場合は、ネットワーク構成を修正してください。

iLO から HPE SIM のアラーム (SNMP トラップ) を受信できない

症状

HPE SIM が iLO から SNMP トラップを受信しません。

アクション

1. iLO 設定権限を持つユーザーアカウントを使用して iLO にログインします。
2. マネジメント - SNMP 設定ページで、アラートタイプと SNMP トラップのパラメーターを構成しま
- す。



SSH の問題

iLO との PuTTY の初期接続時の入力が緩慢である

症状

PuTTY クライアントを使用して初めて iLO に接続を行う際、入力の受け付けが緩慢（約 5 秒間）になります。

アクション

- ・ クライアントの構成オプションが正しいことを確認します。
- ・ Low-level TCP connection options の **Disable Nagle's algorithm** チェックボックスの選択を解除してください。

iLO 共有ネットワークポートを使用する場合、PuTTY クライアントが応答しない

症状

共有ネットワークポートで PuTTY クライアントを使用する場合、PuTTY セッションが応答しなくなります。

原因

大量のデータが転送されているか、仮想シリアルポートとリモートコンソールを使用しています。

アクション

PuTTY クライアントを終了して、セッションを再開してください。

iLO への SSH 接続を使用する場合にテキストが正しく表示されない

症状

80 文字×25 行を超える拡張テキスト構成は、SSH を使用する場合は、正しく表示されません。

原因

テキストベースのリモートコンソールからの SSH アクセスでは、標準の 80 文字×25 行構成のテキスト画面がサポートされます。このモードは、ほとんどのテキストモードインターフェイスで、テキストベースのリモートコンソールに対する互換性を備えています。



アクション

Hewlett Packard Enterprise は、テキストアプリケーションを 80 文字×25 行モードで設定するか、グラフィックリモートコンソールを使用することをお勧めします。

SSH セッションが起動に失敗する、または予期せず終了する

症状

SSH セッションが起動に失敗する、または予期せず終了する。

原因

iLO は共有ネットワークポートを使用するように構成され、その共有ネットワークポートが使用する NIC に対する NIC チーミングが有効になっています。この構成では、次の場合にネットワーク通信がブロックされる可能性があります。

- ・ 選択された NIC チーミングモードによって、iLO が接続されているスイッチは、iLO が共有するように構成されているサーバー NIC/ポートからのトラフィックを無視するようになります。
- ・ 選択された NIC チーミングモードによって、iLO 宛てのすべてのトラフィックが、iLO が共有するように構成されていない NIC/ポートに送信されます。

アクション

共有ネットワークポート構成が、iLO ユーザーガイドに記載されている NIC チーミングガイドラインに従っていることを確認します。



仮想 NIC の問題

iLO Web インターフェイスまたは iLO RESTful API に仮想 NIC からアクセスできない

症状

iLO Web インターフェイスまたは iLO RESTful API への仮想 NIC 接続を介して iLO に接続しようとすると、接続が失敗します。

ホストから仮想 NIC の IP アドレス (16.1.15.1) への ping は成功します。

解決方法 1

原因

必要なインターフェイスまたは機能が iLO で無効になっています。

アクション

- ・ iLO RESTful API を使用するには、**アクセス設定**ページで **Web サーバー**オプションが有効になっていることを確認してください。
- ・ iLO Web インターフェイスを使用するには、**アクセス設定**ページで **Web サーバー**および **iLO Web インターフェイス**オプションが有効になっていることを確認してください。

解決方法 2

原因

ホストオペレーティングシステムのファイアウォール設定が iLO **Web サーバー**の **SSL ポート (HTTPS)** をブロックしています。iLO の Web インターフェイスと iLO RESTful API はこのポートを使用します。

アクション

ポートのブロックを解除します。

アクセス設定ページで、設定されているポートを確認します。デフォルト値は 443 です。

解決方法 3

原因

ブラウザがサポートされていません。

アクション

サポートされているブラウザを使用してください。



詳しくは、iLO のユーザーガイドを参照してください。

解決方法 4

原因

iLO の Web インターフェイスに接続するために使用したブラウザは、プロキシサーバーを使用するように構成されています。

アクション

IP アドレス 16.1.15.1 をプロキシサーバーの例外のリストに追加します。

手順については、ブラウザのドキュメントを参照してください。

仮想 NIC から iLO にアクセスできない

症状

仮想 NIC を介して iLO に接続しようとすると、接続は失敗します。

ホストから仮想 NIC の IP アドレス (16.1.15.1) への ping は失敗します。

解決方法 1

原因

仮想 NIC 機能が無効になっています。

仮想 NIC 機能のステータスを確認して、この原因を確認してください。

- ・ iLO Web インターフェイスの**アクセス設定**ページで仮想 NIC 機能のステータスを確認します。
- ・ REST クライアントを使用して仮想 NIC 機能のステータスを確認します ("redfish/v1/Managers/1/HostInterfaces/1" に対して Get)。

アクション

- ・ iLO Web インターフェイスの**アクセス設定**ページで仮想 NIC 機能を有効にします。
- ・ REST クライアントを使用して仮想 NIC 機能を有効にします ("redfish/v1/Managers/1/Oem/Hpe/VirtualNICEnabled" を true に設定します)。

解決方法 2

原因

USB CDC-EEM ドライバーがインストールされておらず、ホストオペレーティングシステムで実行されていません。

アクション

- ・ オペレーティングシステムが仮想 NIC 機能をサポートしていることを確認します。



詳しくは、iLO のユーザーガイドを参照してください。

- ・ USB CDC-EEM ドライバーがインストールされ実行されていることを確認します。
- ・ オペレーティングシステムが仮想 NIC 機能をサポートしていて、USB CDC-EEM ドライバーがインストールされていない場合は、ドライバーをインストールします。

解決方法 3

原因

仮想 NIC インターフェイスが Linux ホストの DHCP 用に構成されていません。

`ip addr` または `ipconfig` コマンドを使用して、IP アドレス 16.1.15.2 の USB イーサネットインターフェイスを確認して、この原因を確認してください。

アクション

DHCP を使用するようにホスト上の仮想 NIC インターフェイスを構成します。

詳しくは、iLO のユーザーガイドを参照してください。

解決方法 4

原因

ホスト上の仮想 NIC インターフェイスが他のインターフェイスとチームングされています。

この構成はサポートされていません。

アクション

ホスト上の仮想 NIC インターフェイスが他のインターフェイスとチームングされていないことを確認してください。

解決方法 5

原因

仮想 NIC の IP アドレスがホストで手動で変更されました。仮想 NIC が構成されると、アダプターにはホスト上の IP アドレス 16.1.15.2 が割り当てられます。このアドレスを変更すると、この機能にアクセスできなくなります。

アクション

1. 問題の原因を確認します。

- ・ Windows システムの場合 : `ipconfig` を実行し、Ethernet adapter Ethernet という名前のアダプターを探します。
正しい構成では、アダプターの IP アドレスは 16.1.15.2、サブネットマスクは 255.255.255.252 です。
- ・ Linux システムの場合 : ネットワークインターフェイス名を特定し、`ifconfig` を実行します。



正しい構成では、アダプターの IP アドレスは 16.1.15.2、サブネットマスクは 255.255.255.252 です。

2. 別の IP アドレスが使用されている場合は、アダプターの IP アドレスを 16.1.15.2 に戻します。



ネットワークの問題

共有ネットワークポート構成のサーバーで OS のインストールが失敗する

症状

共有ネットワークポートを使用するように構成されているサーバーで、iLO 仮想メディアを使用した OS のインストールに失敗する

原因

- ・ サーバーの起動時および OS NIC ドライバーのロードおよびアンロード時に、一定時間（2～8 秒）、ネットワークから iLO にアクセスできません。この短い時間の経過後に、iLO の通信が復元され、iLO がネットワークトラフィックにตอบสนองします。このようなシチュエーションが起きた場合は、リモートコンソールと、接続されている iLO 仮想メディアデバイスが切断されることがあります。
- ・ サーバーの起動中に一時的に接続が失われると、Windows は、次のレジストリキーで指定された回数の再試行を試みた後、TCP リセットを実行する可能性があります。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\services\Tcpip\Parameters\  
tcpmaxdataretransmissions
```

アクション

- ・ iLO を使用して OS をインストールするときは、iLO 専用ネットワークポートを使用するようにサーバーを構成します。
- ・ サーバーの CD ドライブに挿入された物理メディアを使用して OS をインストールします。
- ・ Windows サーバーで、より多くの再試行を許可するため、次のレジストリキーを構成します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\services\Tcpip\Parameters\  
tcpmaxdataretransmissions
```

デフォルト値の範囲は 3～5 です。この設定を 10（10 進数）に増やすと、この問題の原因となる TCP リセットが防止される可能性があります。このレジストリ値を編集した後、再起動が必要です。

⚠ 警告: レジストリエディターは自己責任において使用し、変更する前にレジストリをバックアップしてください。レジストリエディターの使用を誤ると、深刻な問題を引き起こす恐れがあり、その場合は OS の再インストールが必要になることがあります。詳しくは、Microsoft Knowledge Base の Article ID 番号 256986 を参照してください。上級ユーザー向けの Windows レジストリ情報。

共有ネットワークポート構成のサーバーでネットワークパフォーマンスが低い

症状

共有ネットワークポートを使用するように構成されているサーバーでネットワークパフォーマンスが低い。iLO 仮想メディアを使用する OS のインストールが失敗する可能性がある。

原因

ネットワークの負荷が大きく、iLO が共有ネットワークポートを使用するように構成されている場合は、iLO ネットワーク接続が遅くなったり切断されたりする可能性があります。

影響を受ける構成の詳細については、HPESC の Web サイト (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) でドキュメント a00090513en_us を参照してください。

アクション

- ・ ネットワークアダプターを 100 MB/S のネットワーク速度の環境に接続します。
- ・ OS のインストールに失敗した場合：
 - BIOS 方式による iSCSI ブートを使用して OS をインストールします。
 - iLO を使用して OS をインストールするときは、iLO 専用ネットワークポートを使用するようにサーバーを構成します。
 - サーバーの CD ドライブに挿入された物理メディアを使用して OS をインストールします。
- ・ Linux ユーザーの場合は、Intel の NC-SI Overview and Performance - Understanding the DMTF Standard Manageability Interface のドキュメントの第 7 章の回避策を検討してください。このドキュメントは、Intel の Web サイトから入手できます。



その他の問題

iLO イベントログエントリのタイムスタンプが正しくない

症状

iLO イベントログエントリの日付または時刻が正しくありません。

原因

SNTP 設定が正しく構成されていません。

アクション

NTP サーバーアドレスとタイムゾーンが正しいことを確認してください。

iLO サービスポートに接続された USB キーのマウントが失敗する

症状

iLO サービスポートに接続された USB キーのマウントが失敗する

原因

USB キーは、FAT32 フォーマットでフォーマットされていないか、無効なパーティションテーブルがあります。

アクション

- ・ USB キーが FAT32 にフォーマットされていることを確認します。フォーマットされていない場合、USB キーを再フォーマットします。
- ・ USB キーが FAT32 にフォーマットされており、かつマウントされない場合、Microsoft DiskPart などのユーティリティを使用してそのパーティションを削除して再作成します。

Intelligent Provisioning が iLO ナビゲーションペインにない

症状

Intelligent Provisioning オプションを iLO ナビゲーションペインで選択できない。

原因

Intelligent Provisioning がインストールされていないか、インストールしたバージョンに問題があります。



アクション

1. 最新バージョンの Intelligent Provisioning をインストールします。
2. iLO からログアウトします。
3. iLO にもう一度ログインして、Intelligent Provisioning にアクセスします。

信頼できる証明書をインポートできない

症状

CA から取得した証明書をインポートしようとする、次のメッセージが表示される。

エラー：提供された x.509 証明書データから証明書をインポートすることができません。

原因

証明書が誤った証明書目的値で作成されています。

アクション

証明書を再度要求します。

証明書の目的を選択するように求められたら、必ずサーバー証明書のオプションを選択してください。



Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/EIL>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品の Web サイト

iLO

<https://www.hpe.com/info/ilo>

iLO 5 Information Library

<https://www.hpe.com/support/ilo-docs>

iLO サポート

<https://www.hpe.com/support/ilo5>

iLO の役立つリンクとリソース

<https://www.hpe.com/support/ilo-resource-ref-en>

HPE iLO の無料オンライントレーニング

<https://www.hpe.com/ww/iloBundle>

Active Health System Viewer

<https://www.hpe.com/servers/ahsv>

HPE ProLiant のトレーニング

<https://www.hpe.com/ww/learnproliant>

HPE Synergy

<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>

UEFI システムユーティリティ

<https://www.hpe.com/info/ProLiantUEFI/docs>

SUM

<https://www.hpe.com/info/sut-docs>

SPP

<https://www.hpe.com/info/spp/documentation>

Intelligent Provisioning

<https://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>

iLO RESTful API および RESTful インターフェイスツール

<https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs>

リモートサポート

<https://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

HPE InfoSight for Servers

<https://www.hpe.com/servers/infosight>



iLO Amplifier Pack

<https://www.hpe.com/servers/iloamplifierpack>

HPE OneView

<https://www.hpe.com/info/oneview/docs>

HPE SIM

<https://www.hpe.com/info/insightmanagement/sim/docs>



サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

